Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S800c

クールピクス S800c

活用ガイド

Jp

バッテリーを長持ちさせるには

スタンバイモード

- 節電効果が高く、電源ONへの復帰も早い節電モードです。<u>**電源スイッチを短押しする**</u>とスタンバイモードに入ります。電源スイッチをもう一度短押しすると、すぐにスタンバイモードに入る前の状態で撮影や再生を再開できます。

スタンバイモード

- スタンバイモードに入ってから一定の時間が経過すると（初期設定では 1 時間）、電源OFFします（[**シャットダウンタイマー**] 📖75）。**電源OFFに移行すると作業中のデータは失われます。スタンバイモードに入る前に必ず保存してください。**

電源 OFF

<u>**電源スイッチを長押しする**</u>とカメラは電源OFFします（強制終了）。バッテリーはほとんど消費しません。電源ONしたときは、Android OSの起動が完了するまで、撮影枚数は2～3コマに制限され、設定変更ができません。スタンバイモードと同様、作業中のデータは電源OFFする前に保存してください。

カメラ使用中の節電は

使っていない機能はOFFにしておくと電力消費を抑えられます。Android™プラットフォームのホーム画面に［**電源管理**］ウィジェットを配置して、こまめにOFFにすることをお勧めします。→「ウィジェットを活用する」（📖88）

節電機能の詳細は「電源の状態と節電機能について」（📖19）をご覧ください。

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S800cをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（📖vi～xi）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX S800c
カメラ本体

ストラップ

Li-ion **リチャージャブルバッテリー** EN-EL12
（端子カバー付き）

本体充電 AC **アダプター**
EH-69P

USB **ケーブル**
UC-E6

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□12）をご覧ください。

また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部名称と基本操作」（□1）をご覧ください。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/⚯/☼	関連情報が記載されているページです。⚯は「詳細編」、☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

ホログラムシール

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したもの、またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得、もしくは本製品に予め搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡/ 廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にAndroid™プラットフォームの設定メニュー（📖91）の［**現在地情報とセキュリティ**］→［**GPS機能を使用**］をOFFに設定してから、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例
△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。
すぐに修理依頼を	電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。

電池を取る すぐに修理依頼を		**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
禁止		**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止		**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止		**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止		**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意		**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
保管注意		**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告		**指定の電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止		**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **病院では病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 危険(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池を分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S800cに対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

	危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
	危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 警告（本体充電ACアダプターについて）

	分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
	接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。
禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠注意（本体充電ACアダプターについて）

⚠	**感電注意**	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
⃠	**放置注意**	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
⃠	**禁止**	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

Wi-Fi（無線LAN）機能/Bluetooth機能について

●電波に関するご注意

- 本製品はご購入された国の電波に関する法律に準拠しており、本製品のWi-Fi（無線LAN）およびBluetoothの無線機能はご購入された国以外ではご使用になれませんのでご注意ください。ご購入国以外でのご使用については、弊社では一切の責任を負いかねます。ご購入された国が不明確で判断ができないときはお近くのニコンサービス機関またはカスタマーサポートセンターにご相談ください（Wi-Fi（無線LAN）およびBluetoothの無線以外の機能についてはご購入国以外でもご使用できます）。
- 本製品のWi-Fi（無線LAN）およびBluetoothの無線機能は、2.4 GHz 帯の周波数を使用します。

2.4 FH1/DS4/OF4

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4
この無線機器の使用周波数は2.4 GHz 帯です。変調方式としてDSSS、OFDM変調方式を採用し、干渉距離は約40 mです。

Bluetooth機能：2.4FH1
この無線機器の使用周波数は2.4 GHz 帯です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は約10 mです。

この機器には電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

- 2.4 GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちることがあります。
- 本製品は技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解/改造すること
  - 本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の使用する周波数帯は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ① 構内無線局（免許を要する無線局）
    ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
    ③ アマチュア無線局（免許を要する無線局）

- 本製品を使用するときは、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。使用周波数は、Wi-Fi（無線LAN）アクセスポイントのチャンネル番号を変えることで変更できます。
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本使用説明書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- Wi-Fi（無線 LAN）機能と Bluetooth 機能は同じ周波帯を使用するため、同時に使用すると電波干渉して、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、使用中のWi-Fi（無線LAN）機能とBluetooth機能のいずれかの使用を中止してください。
- 電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性がありますので、ご留意ください。データの送受信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

- 本製品のWi-Fi（無線LAN）機能で使用する周波数帯の2.4GHz帯はさまざまな機器が共有する電波帯のため、ほかの機器の影響によって、本製品のWi-Fi（無線LAN）機能の通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数のWi-Fi（無線LAN）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 公衆Wi-Fi（無線LAN）アクセスポイントの規格変更や仕様変更により、公衆Wi-Fi（無線LAN）に接続できなくなることがあります。

・ 本製品のWi-Fi（無線LAN）機能をご使用の場合、本製品は無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID）が表示されることがありますが、不正なアクセスと見なされる恐れがありますので、利用権限をお持ちでないSSIDについては接続を行わないでください。

●Bluetooth機能のご注意

・ 本製品のBluetooth機能で使用する周波数帯の2.4 GHz帯はさまざまな機器が共有する電波帯のため、ほかの機器の影響によって、本製品のBluetooth機能の通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
・ 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth機器により、通信速度や通信距離はことなります。

●本製品の使用について

本製品はWi-Fi（無線LAN）機器/Bluetooth機器としてお使いください。万一、Wi-Fi（無線LAN）機器/Bluetooth機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・ Wi-Fi（無線LAN）機器/Bluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

●輸出、持ち出しに関するご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

●個人情報の管理および免責事項

・ 本製品内に使用者により登録または設定された、Wi-Fi（無線 LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをおとりください。万一、当社の責によらず内容の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品を譲渡または廃棄する場合、本製品内に使用者により登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、Android™ プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**プライバシー**］→［**データの初期化**］および［**ストレージ**］→［**SDカード内データを消去**］を使用して必ず消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などによって、第三者によって不正な使用による被害が発生しても、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

GPS機能について

●カメラが出す電磁波などについて

- 航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院など使用禁止区域では、Android™ プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**現在地情報とセキュリティ**］→［**GPS機能を使用**］をOFFに設定のうえ、電源をOFFにしてください。

●海外旅行などでお使いの場合

- GPS機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。

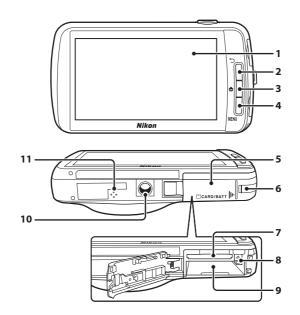
目次

各部名称と基本操作

各部の名称

カメラ本体

レンズ収納時

No.	名称	ページ
1	シャッターボタン	24
2	ズームレバー	23
	W：広角ズーム	23
	T：望遠ズーム	23
	⊞：サムネイル表示	62
	🔍：拡大	61
3	電源スイッチ/電源ランプ	18
4	セルフタイマーランプ	46
	AF補助光	75、⊶59
5	マイク（ステレオ）	69
6	GPSアンテナ部	⊶65
7	フラッシュ	44
8	Wi-Fi（無線LAN）/Bluetoothアンテナ部	
9	レンズ	
10	レンズバリアー	
11	USB端子カバー	14、64、66
12	USB端子	14、64、66
13	ストラップ取り付け部	3
14	HDMI端子カバー	64、⊶15
15	HDMIミニ端子（Type C）	64、⊶15

1	有機ELモニター（モニター）※/タッチパネル..................................6
2	⮌（バック）ボタン......................3
3	⌂（ホーム）ボタン............3、88
4	MENU（メニュー）ボタン ....3、52、63、92
5	バッテリー /SDカードカバー ....12、16
6	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）...............⊶77
7	SDカードスロット.....................16
8	バッテリーロックレバー ....12、13
9	バッテリー室..............................12
10	三脚ネジ穴
11	スピーカー..................................73

※本書ではモニターと表記する場合があります。

操作ボタンを使う

COOLPIX S800cの本体ボタンは、以下のように操作します。

⮌（バック）ボタン

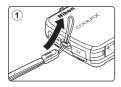
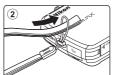
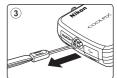
- ⮌（バック）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 撮影画面で ⮌（バック）ボタンを押すとメッセージが表示されます。撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押しします。そのまま撮影モードを終了させるにはもう一度⮌（バック）ボタンを押します。撮影モードが終了すると、Android™プラットフォームのホーム画面（📖88）が表示されます。

⌂（ホーム）ボタン

- ⌂（ホーム）ボタンを押すと、ホーム画面（📖88）が表示されます。撮影を終了させるときも、⌂（ホーム）ボタンを押します。
- ホーム画面（📖88）で ⌂（ホーム）ボタンを長押し（数秒押したままに）すると、最近使用したアプリケーション画面を開きます。
- 電源OFF時に⌂（ホーム）ボタンを長押しすると、ホーム画面（📖88）で電源をONにします。

MENU（メニュー）ボタン

- MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューを表示します。
  カメラ使用時は、撮影メニュー（撮影時）または再生メニュー（再生時）を表示します。Android™プラットフォーム使用時は、オプションメニューを表示します。メニューを選ぶには、メニュー項目をタッチします。

ストラップの取り付け方

タッチパネルの操作方法

COOLPIX S800cのモニターは、指で画面に触れて操作するタッチパネルになっています。以下のように画面に触れて操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

以下の操作に使います。

- アイコンを選ぶ
- サムネイル表示中（□62）に画像を選ぶ
- タッチシャッター、タッチ AF/AE またはターゲット追尾を使う（□53）

長押しする

項目やアイコンに指を触れた状態を保つ動作です。

以下の操作に使います。

- テキストを編集する（□87）

ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かし、離す動作です。

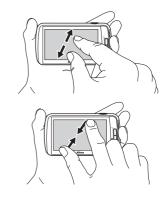
以下の操作に使います。

- 再生中（1 コマ表示時）（□26）に前後の画像を表示する
- 画像の拡大表示中（□61）に表示範囲を移動する
- 露出補正（□49）などのスライダー操作

広げる/つまむ

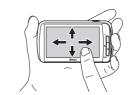
タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中に、画像を拡大／縮小する（□61）
- 再生中（1コマ表示時）にサムネイル表示（□62）にする

フリックする

画面を指で上下左右に払う動作です。

以下の操作に使います。

- 画面を切り換える（□89）

✔ タッチパネルについてのご注意

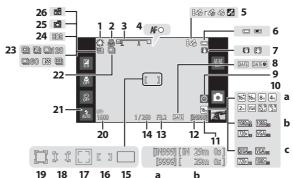
- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

✔ タッチパネル操作時のご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするとき/広げるとき/つまむときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
  - タッチパネルを弾く
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる
  - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい
- タッチするときに、タッチパネルの他の部分にも何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

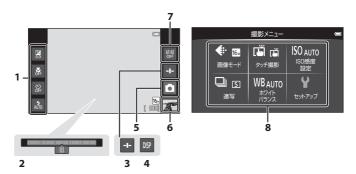
モニター/タッチパネルの主な表示と基本操作

撮影モード（情報表示）

- 表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。
  初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に表示の一部が消えます（[**モニター設定**]（□74）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。再表示するには、DISPをタッチします。

番号	項目	参照ページ
1	ホワイトバランス	53、E38
2	マクロ領域表示	48
3	ズーム表示	23、48
4	AF表示	24
5	GPS受信状態	75、E66
6	バッテリー残量表示	18
7	手ブレ補正	74、E58
8	デート写し込み	74、85、E57
9	日時未設定	79、E78
10	a 画像モード	53、E26
	b 動画設定（通常速度の動画）	72、E52
	c 動画設定（HS動画）	72、E53
11	a 記録可能コマ数（静止画）	18、E27
	b 記録可能時間（動画）	69、71
12	内蔵メモリー表示	18、69
13	絞り値	24、57
14	シャッタースピード	24、57
15	AFエリア（オート）	57
16	AFエリア（中央時）	
17	AFエリア（顔認識時、ペット検出時）	39、57、58
18	AFエリア（タッチAF/AE時）	53、60、E33
19	AFエリア（ターゲット追尾時）	53、E31
20	ISO感度表示	53、E35
21	フラッシュ表示	44
22	連写モード（シーンの［**ペット**］撮影時）	39
23	連写モード（オート撮影時）	53、E36
24	逆光（HDR）	37
25	ペット自動シャッター	39
26	笑顔自動シャッター	54、E41

撮影モード（操作部）

以下のアイコンをタッチすると、モードの切り換えや設定の変更などができます。

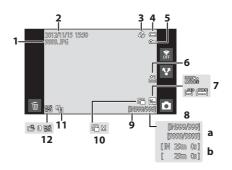
- MENU（メニュー）ボタンを押すとメニュー項目が表示され、撮影時の設定を変更できます（📖2）。
- 操作できる項目や表示は、撮影モードや設定状態によって異なります。

1	撮影の基本設定※1 ....44、46、48、49	5	撮影モード※2 ....10、20、30、31、32、40、41、69
2	シーンエフェクト調整スライダー 33	6	再生モード（再生モードへの切り換え）※3 ....10、26
3	スライダー表示（シーンエフェクト調整）..........33	7	タッチAF/AE解除 ....53、60、⊶33
4	情報再表示 6	8	メニュー項目※1 52

※1 各アイコンは、現在の設定も示しています。

※2 アイコンは、撮影モードによって異なります。

※3 画像や動画が記録されていないときは、▶が表示されます。

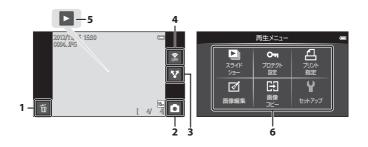
再生モード（情報表示）

- 表示される情報は、再生中の画像の種類やカメラの状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[**モニター設定**]（□74）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。再表示するには、モニターをタッチします。

1	ファイル名............................ ⛭76	9	内蔵メモリー表示 ....26、69
2	撮影日/撮影時刻.........................84	10	スモールピクチャー ....63、⛭12 トリミング ....61、⛭13
3	GPS情報記録済み表示 75、⛭66	11	D-ライティング........ 63、⛭8
4	バッテリー残量表示..................18	12	簡単レタッチ .... 63、⛭7 フィルター効果 .... 63、⛭9 美肌 ....63、⛭11
5	プロテクト設定............ 63、⛭44		
6	プリント指定................ 63、⛭46		
7	画像モード※1............... 53、⛭26 動画設定※1 .... 72、⛭52 かんたんパノラマ...........38、⛭4		
8	**a** 画像の番号/全画像数..............26 **b** 動画の再生時間 73		

※1 アイコンは、撮影時の設定によって異なります。

再生モード（操作部）

以下のアイコンをタッチすると、モードの切り換えや設定の変更などができます。

- MENU（メニュー）ボタンを押すとメニュー項目が表示され、編集などができます（📖2）。
- 再生中の画像の種類や、カメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

1	🗑（削除）...........................28	4	（Wi-Fi設定）...........................77
2	撮影モード（撮影モードへの切り換え）※1 .... 10、26	5	動画再生.........................73 かんたんパノラマ再生 ...38、🔭4
3	（共有）...........................77	6	メニュー項目...........................63

※1 アイコンは、撮影モードによって異なります。

撮影モードと再生モードを切り換える

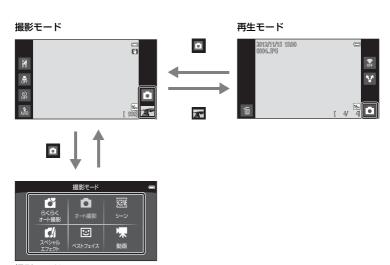
このカメラには、画像を撮影する「撮影モード」と、撮影した画像を再生する「再生モード」があります。

「再生モード」へ切り換えるには、「再生モードアイコン」をタッチします。

「撮影モード」へ切り換えるには、「撮影モードアイコン」をタッチします。

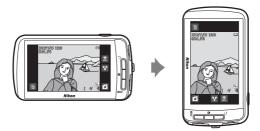
- 再生モードでシャッターボタンを押しても、撮影モードになります。

撮影モード

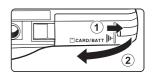
再生モード

撮影モードメニュー

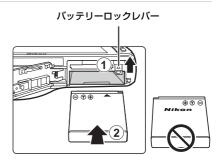
- 撮影モードで「撮影モードアイコン」をタッチすると、撮影モードの種類を選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。
- アイコンをタッチして、撮影モードを選んでください。

縦/横画面表示を切り換える

カメラ本体を回転すると、以下のように画面の表示が切り換わります（撮影モード時と動画再生時を除く）。

撮影と再生の基本ステップ

準備1　バッテリーを入れる

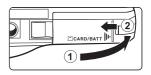
1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

2 付属のバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を入れる

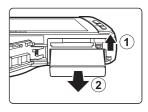
- バッテリーの側面でオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→□14

撮影と再生の基本ステップ

バッテリーを取り出すときは

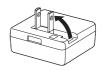
電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

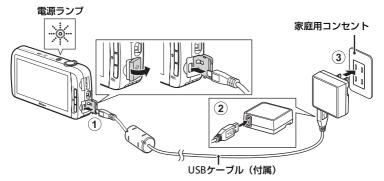
カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（□viii）、「警告」（□ix）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

準備2　バッテリーを充電する

1 付属の本体充電ACアダプター EH-69Pを用意する

2 バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- 電源ランプがオレンジ色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約4時間です。
- フル充電されると、電源ランプがゆっくりした点滅から消灯に変わります。
- 電源ランプについて→📖15

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

- カメラをEH-69Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。

電源ランプについて

状態	意味
ゆっくり点滅	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ℃～35 ℃の室内で充電してください。 • USBケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□ix）、「注意」（□xi）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（2～5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

充電器で充電する

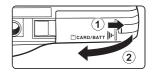
別売のバッテリーチャージャー MH-65P（77）を使うと、カメラを使わずにEN-EL12を充電できます。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62F（77）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

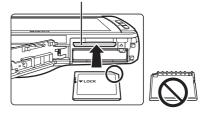
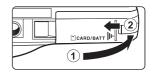
準備3　SDカードを入れる

1 電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

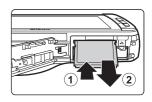
SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、Android™プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**ストレージ**］→［**SDカード内データを消去**］を選びます。

SDカードについてのご注意

- SDXCメモリーカードには、対応していません。対応SDカードについては、「主な仕様」の「推奨SDカード」（☼17）をご覧ください。
- SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意」の「メモリーカードについて」（☼5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SDカードを指で軽く奥に押し込むと(①)、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます(②)。

高温注意

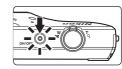
カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約1.7 GB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- **ご購入後、はじめて電源をONにしたときは** →「はじめて電源をONにしたときは」□79
- 2回目以降、電源スイッチを押して電源ONすると、撮影画面になります。
  すぐに撮影が可能ですが、再生モードアイコンが表示されるまでは撮影可能コマ数は2～3コマに制限され、設定の変更などはできません。「電源の状態と節電機能について」→□19

再生モードアイコン

2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示

記録可能コマ数

バッテリー残量表示

表示	意味
(電池アイコン)	バッテリー残量はあります。
(電池アイコン)	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
(警告アイコン) **電池残量がありません**	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SDカードをカメラに入れていないときは、「IN」が表示され、画像を内蔵メモリー（約1.7 GB）に記録します。
- 記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズ（画像モード）によって異なります（□53）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源の状態と節電機能について

COOLPIX S800cには、以下の電源の状態があります。COOLPIX S800cを使用していないときは、節電機能（画面オフ機能やスタンバイ機能）を使ってバッテリーの消費を最小限に抑えることをおすすめします。

電源の状態	操作方法と機能
電源ON	カメラを使うときは電源スイッチを押します。 Android OSの起動が完了するまでの間は、撮影可能コマ数は2～3コマに制限され、撮影に関する設定ができません。再生モードアイコンが表示されると、通常の撮影に切り換わります。 Android OSを使うときは⌂（ホーム）ボタンを押します。
画面オフ	何も操作しない状態が1分（初期設定）※1続くとモニターを消灯し、バッテリーの消費を抑えます。さらに約1分（固定）続くと、スタンバイモードになります。
スタンバイモード※3	電源スイッチを短押しするか、または画面オフの状態が約1分続くと、スタンバイモードになります。各機能を待機状態にし、バッテリーの消費を大幅に抑えます。1時間（初期設定）※2経過すると電源OFFになります。
電源OFF※3	電源スイッチを長押しするか、スタンバイモードが1時間（初期設定）続くと、電源OFFになります。電源OFFの処理中は、電源ランプが点滅します。消灯するまでお待ちください。

※1 Android™ プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**表示**］→［**画面オフ**］で設定できます。
※2 セットアップメニュー（□74）の［**シャットダウンタイマー**］で設定できます。
※3 電源がOFFになると未保存のデータは失われます。スタンバイモードに入る前や電源ボタンを長押しする前に、必ず保存してください。

電源ONに復帰するには

電源の状態	操作方法
画面オフ	電源スイッチ、シャッターボタン、↩（バック）ボタン、⌂（ホーム）ボタン、MENU（メニュー）ボタンを押します。
スタンバイ	電源スイッチを短押しします。
電源OFF	電源スイッチを長押しします。⌂（ホーム）ボタンを長押しすると、ホーム画面（□88）で電源ONします。

機能をOFFにして節電をする

Wi-Fi（無線LAN）機能、Bluetooth機能、GPS機能（撮影モード時）をONにしているときは、バッテリーが通常よりも消費します。バッテリーの消費を抑えるため、使用していないときは機能をOFFにすることをおすすめします（□81、⊶19、⊶73）。

撮影と再生の基本ステップ

ステップ2　撮影モードを選ぶ

1 撮影モードアイコンをタッチする

- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

2 アイコンをタッチして撮影モードを選ぶ

- ここでは、(らくらくオート撮影) モードを例に説明します。［**らくらくオート撮影**］をタッチしてください。

- (らくらくオート撮影) モードの撮影画面になります。撮影モードアイコンは、被写体や構図に合わせて、、、、、、、またはに変わります。
- 画面に表示されるアイコンについては、6ページをご覧ください。
- 選んだ撮影モードは電源をOFFにしても記憶されます。

撮影と再生の基本ステップ

撮影モードの種類

らくらくオート撮影 (□30)

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

オート撮影 (□31)

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（□53）の項目を設定できます。

SCENE シーン (□32)

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。
- シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、設定したいシーンのアイコンをタッチします。

スペシャルエフェクト (□40)

画像に効果を付けて撮影できます。5種類の撮影効果から選べます。
- 効果を選ぶには、撮影モードメニューで、設定したい効果のアイコンをタッチします。

ベストフェイス (□41)

人物の笑顔を検出して、自動でシャッターをきることができます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

動画 (□69)

動画（音声付き）を撮影できます。

撮影モードで使える機能について

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモードまたは露出補正の設定ができます。
  →「撮影の基本設定」（□43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（□2）、選んだ撮影モードに応じたメニュー項目が表示されます。撮影モードのメニュー項目は、「MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（撮影メニュー）」（□52）をご覧ください。

画像に位置情報を記録するには

セットアップメニュー（□74）の［**GPS設定**］で［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にします。

ステップ3　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

2　構図を決める

撮影モードアイコン

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（□30）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
  →「顔認識撮影について」（□58）
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

☑ 📷（らくらくオート撮影）モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するときや、フラッシュモード（□45）を⊛（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□74）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

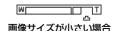
ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
  電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- ズームレバーを回すと、モニターの画面上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 方向に回すと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズーム使用時は、ズームの量が凸マークを超えると画質が劣化します。
凸マークの位置は撮影時の画像サイズが小さいほど右に移動するため、画像サイズの小さい画像モード（□53）にすると、画質を劣化させずにより大きく拡大できます。

画像サイズが小さい場合

ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

1　シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める（これを「半押し」といいます）

- 半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。ピントと露出は、半押しを続けている間、固定されます。
- ピントが合うと AF エリアが緑色に点灯します。
  →「AFエリアについて」（📖57）
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（📖6）が緑色に点灯します。

- 半押しして、AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（これを「全押し」といいます）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあります。ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□60）をお試しください。

タッチ撮影について

タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます。初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（□53）。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□75）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□44）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

モーション検知について

（らくらくオート撮影）モードや（オート撮影）モードなどでは、カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度が上がり、シャッタースピードが速くなります。このようなときは、シャッタースピード表示が緑色に変わります。

ステップ5　画像を再生する

1 再生モードアイコンをタッチする

- 撮影モードから再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を 1 コマ表示します。

撮影画面

再生画面

画像の番号/全画像数

- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SD カードを取り出します。「画像の番号/全画像数」に「IN」が表示されます。

2 画像をドラッグして前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：右へドラッグ
- 次の画像を表示する：左へドラッグ
- 撮影に戻るには、画面右下の撮影モードアイコン（📷）をタッチするか、シャッターボタンを押します。

撮影と再生の基本ステップ

画像の再生について

- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 再生時にカメラ本体を回転すると、撮影時の上下方向に合わせて自動的に画像を回転して表示します。画像の上下方向は、撮影後に［**画像回転**］（📖63）で変更できます。
- 縦位置の画像を横位置で拡大表示すると、画像がぼやけることがあります。

関連ページ

- 拡大表示→📖61
- サムネイル表示→📖62
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（再生メニュー）→📖63
- 画像を共有する→📖77

ステップ6　不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示して 🗑 をタッチする

2 削除方法をタッチする

- ［**表示画像**］：表示している 1 コマを削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します。→「削除画像選択画面の操作方法」（📖29）
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- サムネイル表示（📖62）にして手順1の操作をした場合は、［**削除画像選択**］または［**全画像**］から選びます。

3 削除の確認画面で［はい］をタッチする

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるには、［**いいえ**］をタッチするか、⮌（バック）ボタンを押します。

✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像は、パソコンなどに保存するようおすすめします。
- プロテクト設定（📖63）した画像は、削除されません。
- 処理の実行中に 🏠（ホーム）ボタンを押すと、処理を中止して Android™ プラットフォームのホーム画面が表示されます。メッセージが消灯するまで、操作をしないでください。

削除画像選択画面の操作方法

1 画像をタッチし、✓を表示する

- 選択を解除するには、もう一度画像をタッチして✓を非表示にします。
- モニターを上下にドラッグすると、画面をスクロールします。
- ズームレバーを**T**(Q)方向または**W**(▦)方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、OKをタッチして選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

いろいろな撮影

（らくらくオート撮影）モード

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

- ：ポートレート
- ：風景
- ：夜景ポートレート
- ：夜景
- ：クローズアップ
- ：逆光
- ：その他の撮影シーン

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。
- 自動判別した撮影シーンによってAF エリアが変わります。人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→58）。顔認識時は、枠で囲まれた顔をタッチするとシャッターがきれます。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます。初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（タッチシャッター）（53）。

（らくらくオート撮影）モードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマーまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（2）、（らくらくオート撮影）モードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「撮影メニューの種類」（53）

（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー（□53）の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。顔を認識しないときは、9 つあるAF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAF エリアにピントが合います（ピント合わせについて→□57）。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます。初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（タッチシャッター）（□53）。
  ピントを合わせるAF エリアが被写体を追尾する［**ターゲット追尾**］も設定できます（□53）。

（オート撮影）モードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（□2）、（オート撮影）モードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「撮影メニューの種類」（□53）

いろいろな撮影

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

シーンを選ぶには、左の画面で設定したいシーンのアイコンをタッチします。

ポートレート（□34）	風景（□34）	スポーツ（□34）	夜景ポートレート（□35）
パーティー（□35）	ビーチ（□35）	雪（□35）	夕焼け（□35）
トワイライト（□35）	夜景（□36）	クローズアップ（□36）	料理（□36）
打ち上げ花火（□37）	モノクロコピー（□37）	逆光（□37）	かんたんパノラマ（□38）
ペット（□39）			

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面で?をタッチすると、［**ヘルプ選択**］画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、それぞれのシーンの特徴を表示できます。もとの画面に戻るには、［**OK**］をタッチするか、⮌（バック）ボタンを押します。

いろいろな撮影

シーンモードの設定を変える

- シーンによっては、フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□43）、「初期設定一覧」（□50）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（□2）、シーンモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「撮影メニューの種類」（□53）

シーンエフェクトの調整

以下のシーンモードでは、をタッチするとシーンエフェクト調整スライダーが表示されます。

- シーンエフェクト調整スライダーをタッチまたはドラッグして、シーンの効果を調整します。
- 調整が終わったら、をタッチしてシーンエフェクト調整スライダーを非表示にしてください。

シーンエフェクト調整スライダー

料理	青く ←→ 赤く
風景、クローズアップ	鮮やかさを減らす ←→ 鮮やかさを増す
夕焼け、トワイライト	青味強く ←→ 赤味強く

シーンエフェクトの調整は電源をOFF にしても記憶されます。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□58）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（□54）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

風景

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□6）が緑色に点灯します。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（□33）。

スポーツ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（□53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、約 8 コマ / 秒の速さで約 3 コマまで連写できます（画像モードが 16M［**4608 × 3456**］のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出およびホワイトバランスは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター（□53）で撮影すると、1 コマずつの撮影になります。

三脚：三脚が記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□74）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

夜景ポートレート

- フラッシュが常に発光します。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（58）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（54）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（74）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ビーチ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。

雪

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。

夕焼け

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（33）。

トワイライト

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（6）が緑色に点灯します。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（33）。

夜景

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□6）が緑色に点灯します。

クローズアップ

- マクロモード（□48）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（□53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（□33）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理

- マクロモード（□48）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（□53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- シーンエフェクト調整スライダーで、照明によって被写体の色が変わる影響を調整できます（□33）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

：が記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□74）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- ピントは遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□6）が緑色に点灯します。

モノクロコピー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（□53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（□48）を併用してください。

逆光

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（□53）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- MENU（メニュー）ボタンを押して（□2）HDR［**HDR**］をタッチすると、撮影シーンに合わせて、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の ON/OFF を設定できます。
- OFF［**OFF**］（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
  - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- ON［**ON**］：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - 電子ズームは使えません。
  - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
    - HDR 合成していない画像
    - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
  - 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、撮影時に D- ライティング（□63）で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

かんたんパノラマ

- カメラを動かすだけで、パノラマ写真を撮影できます。
- MENU（メニュー）ボタンを押して（2）［**かんたんパノラマ**］をタッチすると、撮影する範囲を STD［**標準（180°）**］（初期設定）、または WIDE［**ワイド（360°）**］から選べます。
- シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終えると自動で撮影が終了します。
- ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- かんたんパノラマで撮影した画像を、1 コマ再生して ▶ をタッチすると、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

→「かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）」（2）

パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

ペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- MENU（メニュー）ボタンを押して［**連写**］を選ぶと表示される画面で［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］（初期設定）：検出した顔にピントが合うと、自動で 3 コマ連写します。このとき、連写速度は約 1.3 コマ / 秒です。手動でシャッターをきるときは、シャッターボタンを全押ししている間、約 17 コマ連写できます。連写速度は約 1.4 コマ / 秒です（［**画像モード**］が［**4608 × 3456**］のとき）。

ペット自動シャッターについて

- 設定を変更するには、MENU（メニュー）ボタンを押して、［**ペット自動シャッター**］を選びます。
  - ON［**ON**］（初期設定）：ペットの顔を検出するとピントを合わせ、自動でシャッターをきります。
  - OFF［**OFF**］：ペットの顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンまたは、タッチシャッター（53）で、シャッターをきります。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を5回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなったとき

  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、MENU（メニュー）ボタンを押して［**ペット自動シャッター**］を［**ON**］に再設定してください。

AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い二重枠のAF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- 犬や猫の顔を複数（最大5匹）検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠のAFエリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。
- ペットの顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。

［ペット］についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 被写体との距離や動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

ペット検出して撮影した画像の再生について

1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、認識した顔を中心に拡大表示します。複数の顔を認識したときは、またはをタッチすると、別の顔に移動できます。拡大率を変えると顔以外の位置を拡大できます。

いろいろな撮影

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。
以下の5種類の効果の中から選べます。

効果を選ぶには、左の画面で設定したい効果のアイコンをタッチします。

種類	内容
SOFT ソフト（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（2）、スペシャルエフェクトモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「撮影メニューの種類」（53）

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

初期設定では、顔認識した人物の笑顔を検出して自動でシャッターをきることができます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます（美肌機能について→□54）。

カメラを人物に向けて、笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→□58）。
- ［**笑顔自動シャッター**］（□54）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- 自動撮影を終了するには［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にするか、撮影モードアイコンをタッチして他の撮影モードに切り換えてください。

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→59

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、画面オフ状態になります（19）。

- カメラが顔を認識しない。

セルフタイマーランプについて

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- ［**笑顔自動シャッター**］が［**OFF**］のときは、タッチシャッターが使えます（53）。

ベストフェイスモードの設定を変える

- フラッシュ、セルフタイマーまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（2）、ベストフェイスモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「撮影メニューの種類」（53）

撮影の基本設定

撮影時にモニター左のアイコンをタッチすると、以下の機能を設定できます。
1 フラッシュモード
2 セルフタイマー
3 マクロモード
4 露出補正

- アイコンが非表示のときは DISP をタッチします。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」(□50)をご覧ください。

	フラッシュ(□44)	セルフタイマー(□46)	マクロ(□48)	露出補正(□49)
(らくらくオート撮影)(□30)	○	○	×※1	○
(オート撮影)(□31)	○	○	○	○
SCENE(シーン)(□32)	※2			
(スペシャルエフェクト)(□40)	○	○	○	○
(ベストフェイス)(□41)	○※3	○※3	×	○
(動画)(□69)	×	×	○	×

※1 に判別されるとマクロモードになります。
※2 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」(□50)
※3 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。→「初期設定一覧」(□50)

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります(□55)。

フラッシュを使う（フラッシュモード）

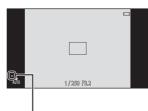
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 フラッシュモードアイコンをタッチする

2 設定したいフラッシュモードのアイコンをタッチする

- フラッシュモードの種類→📖45

3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。このときフラッシュモードアイコンも表示されません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中はモニターが消灯します。

フラッシュ表示

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～5.6 m、望遠側で約1.0～3.1 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（□43）
  →「初期設定一覧」（□50）
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（□55）
- （オート撮影）モード（□31）の場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□74）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする

2 **10s**または**2s**をタッチする

- **10s**［**10 秒**］：記念撮影などに適しています。
- **2s**［**2 秒**］：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。

セルフタイマー
10s
10秒
2s
2秒
OFF
OFF

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数がモニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マクロモードアイコンをタッチする

2 ONをタッチする

3 ズームレバーを操作し、🌷 マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  🌷マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約30 cmまでの被写体にピント合わせができます。
  最も広角側のズーム位置（△マークの位置）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」（📖50）
- 📷（オート撮影）モード（📖31）の場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 露出補正アイコンをタッチする

2 スライダーバーをタッチまたはドラッグして補正値を変更する

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「−」側に設定します。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 撮影せずに設定画面を終了するには、OKをタッチします。
- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0**］にしてOKをタッチしてください。

露出補正の設定について

（オート撮影）モード（31）の場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

• シーンモードについては、次ページをご覧ください。

	フラッシュ（□44）	セルフタイマー（□46）	マクロ（□48）	露出補正（□49）
（らくらくオート撮影）	AUTO※1	OFF	OFF※2	0.0
（オート撮影）	AUTO	OFF	OFF	0.0
（スペシャルエフェクト）	AUTO	OFF	OFF	0.0
（ベストフェイス）	AUTO※3	OFF※4	OFF※5	0.0
（動画）	–	OFF※5	OFF	–

※1 AUTO［**自動発光**］（初期設定）または［**発光禁止**］を選べます。AUTO［**自動発光**］にすると、自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
※2 変更できません。に判別されるとマクロモードになります。
※3 ［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。
※4 ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。
※5 変更できません。

• （オート撮影）モードの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます（セルフタイマーを除く）。

シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ（□44）	セルフタイマー（□46）	マクロ（□48）	露出補正（□49）
（□34）		OFF	OFF※1	0.0
（□34）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□34）	※1	OFF※1	OFF※1	0.0
（□35）	※2	OFF	OFF※1	0.0
（□35）	※3	OFF	OFF※1	0.0
（□35）	AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□35）	AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□35）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□35）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□36）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□36）		OFF	ON※1	0.0
（□36）	※1	OFF	ON※1	0.0
（□37）	※1	OFF※1	OFF※1	0.0※1
（□37）		OFF	OFF	0.0
（□37）	、※4	OFF	OFF※1	0.0
（□38）	※1	OFF※1	OFF※1	0.0
（□39）	※1	OFF※5	OFF	0.0

※1 変更できません。

※2 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※3 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※4 ［**HDR**］の［**OFF**］時は（強制発光）に、［**HDR**］の［**ON**］時は（発光禁止）に固定されます。

※5 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□39）のON/OFFを設定できます。

いろいろな撮影

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（撮影メニュー）

撮影モードでMENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- 撮影画面に戻るには、MENU（メニュー）ボタンを押します。

設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

	らくらくオート撮影	オート撮影	シーン※2	スペシャルエフェクト	ベストフェイス
画像モード※1	○	○	○	○	○
タッチ撮影	○	○	○※4	○	○※3
ISO感度設定	×	○	×	×	×
連写	×	○	×	×	×
ホワイトバランス	×	○	×	×	×
美肌効果	×	×	×	×	○
目つぶり軽減	×	×	×	×	○
笑顔自動シャッター	×	×	×	×	○

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

※2 シーンによっては、他の項目を設定できます。→「シーンモードの種類と特徴」（□34）

※3［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。

※4 シーンによっては設定を変更できません。

撮影メニューの種類

撮影メニューでは、以下の項目の設定が変更できます。

項目	内容	📖
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます。 初期設定は［4608×3456］です。 この設定は、他の撮影モードにも適用されます。	26
タッチ撮影	画面にタッチするだけでシャッターがきれる［**タッチシャッター**］（初期設定）と、画面をタッチしてAFエリアを選ぶ［**タッチAF/AE**］を切り換えます。（オート撮影）モードでは、［**ターゲット追尾**］も設定できます。	28
ISO ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。［**オート**］（初期設定）では、カメラが自動でISO感度を設定します。	35
連写	連続撮影の設定をします。 ・［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］に設定したときは、シャッターボタンを全押しし続けて連写します。 ・［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］に設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。シャッターボタンを押し続ける必要はありません。 ・初期設定は［**単写**］（1 コマずつ撮影）です。	36
WB ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。［**オート**］（初期設定）でほとんどの光源に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。 ・ホワイトバランスを［**オート**］、［**フラッシュ**］以外に設定したときは、フラッシュモード（44）を（発光禁止）に設定してください。	38
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は［**標準**］です。	40

項目	内容	📖
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。	⚮41
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	⚮41

美肌機能について

シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。
以下の撮影モードで美肌機能が働きます。

- シーンモードが［**ポートレート**］（📖34）または［**夜景ポートレート**］（📖35）のとき（（らくらくオート撮影）モードで切り換わった場合を含む）
- ベストフェイスモードのとき（📖41）

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（📖63）。

美肌機能についてのご注意

- 画像の記録にかかる時間が通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、他の撮影モードに切り換えるか、ベストフェイスモード時は［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］では、美肌効果の度合いは設定できません。

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖55）。

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード（□44）	連写（□53）	［**単写**］以外にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□54）	［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー（□46）	ターゲット追尾（□53）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマーは使えません。
画像モード（□53）	連写（□53）	連写の設定によって、［**画像モード**］は以下に固定されます。 ・［**高速連写 120 fps**］時：VGA（画像サイズ：640 × 480 ピクセル） ・［**高速連写 60 fps**］時：1M（画像サイズ：1280 × 960 ピクセル） ・［**マルチ連写**］時：5M（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）
マクロモード（□48）	ターゲット追尾（□53）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、マクロモードは使えません。
ISO感度設定（□53）	連写（□53）	［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
		［**連写 L**］で撮影するときは、［**3200**］は選べません。［**ISO感度設定**］が［**3200**］のときに［**連写 L**］にすると、［**1600**］に変更されます。
連写（□53）	タッチシャッター（□53）	［**マルチ連写**］以外にして撮影するときは、タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
目つぶり検出設定（□75）	連写（□53）	［**単写**］以外にして撮影するときは、目つぶり検出しません。
デート写し込み（□74）	連写（□53）	［**単写**］、［**マルチ連写**］以外にして撮影するときは、日付を写し込めません。
	目つぶり軽減（□54）	［**ON**］に設定すると、［**デート写し込み**］は使えません。

組み合わせて使えない機能

制限される機能	設定	内容
電子ズーム (□75)	連写（□53）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
	ターゲット追尾 （□53）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音 (□75)	連写（□53）	［**単写**］以外にして撮影するときは、シャッター音は鳴りません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードによっては、電子ズームは使えません。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。

ピント合わせについて

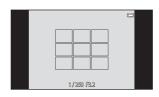
撮影モードによって、AFエリアは異なります。

- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）の撮影では、ピントが合わないことがあります。シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、「オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは」（□60）をお試しください。

AFエリアについて

（らくらくオート撮影）モードや、（オート撮影）モードのときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- 顔認識した場合：
  二重枠の AF エリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  9 つある AF エリアのうち最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。（らくらくオート撮影）モードで撮影モードアイコンがや以外の撮影シーンに判別されたときは、画面中央でピントが合います（□6）。

- 画面をタッチしてピントが合うエリアを選ぶこともできます（タッチ撮影→□53）。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
顔を複数認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

- 一重枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にAFエリアを変更できます（ベストフェイスモードの笑顔自動シャッターが［**ON**］時を除く）。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（らくらくオート撮影）モード（□30）	最大12人	カメラに最も近い顔
（オート撮影）モード（□31）		
シーンモード（□32）の［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
ベストフェイスモード（□41）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- （らくらくオート撮影）モードでは、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります（□57）。
- （オート撮影）モードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- ［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、またはベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントが合います。
- ターゲット追尾（□53）では、顔認識して枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔でターゲット追尾が始まります。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
  また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□60）をお試しください。

顔認識撮影した画像の再生について

再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（連写した画像を除く）。

オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは

オートフォーカスが苦手な被写体（□25）を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、以下の方法をお試しください。

1 （オート撮影）モードに切り換えて(□31)、タッチ撮影の設定を［タッチAF/AE］(□53)にする

2 ピントを合わせたい被写体と等距離にある別の被写体にタッチする

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AF エリアが緑色に点灯します。
- 露出は、半押ししてピント合わせした被写体に合います。

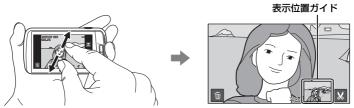
4 半押ししたまま構図を変える

- 半押ししている間は被写体とカメラの距離を変えないでください。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな再生

拡大表示

再生画面で画像に2本の指を触れたまま指の間隔を広げると、表示中の画像が拡大表示されます。

- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すか、画像を 2 回すばやくタッチしても拡大表示します。ピントの確認などに使います。約10倍まで拡大できます。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて拡大率を調整できます。ズームレバーを**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回しても調整できます。
- 表示位置を移動するには、画像をドラッグします。
- 顔認識（□59）またはペット検出（□39）して撮影した画像は、ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、認識した顔を中心に拡大表示します（連写した画像を除く）。複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、◙ または ◙ をタッチすると表示する顔が切り換わります。
- ✂ をタッチすると、表示されている部分をトリミングし、別画像として保存できます。
- 🗑をタッチすると、画像を削除できます。
- ズームレバーを**W**（▦）方向に回すか、画像を2回すばやくタッチすると、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示

再生画面で画像に2本の指を触れたまま指の間隔をつまむように狭めると、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

6 コマ /12 コマ /20 コマ

- ズームレバーを**W**（）方向に回しても、サムネイル表示になります。
- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて表示コマ数を変更できます。ズームレバーを**T**（）方向または**W**（）方向に回しても変更できます。
- モニターを上下にドラッグすると、画面をスクロールします。
- 画像をタッチすると、タッチした画像を1コマ表示します。

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューを設定できます。

• 再生画面に戻るには、MENU（メニュー）ボタンを押します。

再生メニューの種類

再生モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

項目	内容	📖
スライドショー	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	➡42
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	➡44
プリント指定※1	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	➡46
画像編集※1、2、3	撮影した画像を編集できます。編集機能には［**簡単レタッチ**］、［**D-ライティング**］、［**フィルター効果**］、［**美肌**］、［**スモールピクチャー**］があります。編集した画像は、元画像とは別に保存されます。	➡5
	［**画像回転**］で、撮影後にカメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定できます。	➡49
画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。	➡50

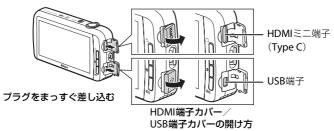
※1 動画は設定できません。

※2 サムネイル表示のときは、設定できません。1コマ表示にしてから設定してください。

※3 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。ただし、スモールピクチャーまたはトリミングなど一部の編集機能を追加で行える場合があります。

テレビ、パソコンとの接続

テレビ、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラのバッテリー残量が充分にあることを確認してください。テレビと接続するときは、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。パソコンと接続するときは、必ず、カメラの電源をONにして、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続するとカメラに表示される画面でUSBストレージをONにします。接続を解除するときは、カメラの電源がONの状態で、パソコンでリムーバブルディスクの取り外しをしてから、カメラに表示される画面でUSBストレージをOFFにして付属のUSBケーブルを取り外します。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。

テレビで鑑賞する

E15

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

65

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前にViewNX 2のインストーラーをダウンロードして、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。ViewNX 2 のインストーラーのダウンロード方法、パソコンへの簡単な転送手順については、66 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version 10.6.8、10.7.4）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動して、下記のアドレスからViewNX 2のインストーラーをダウンロードする

http://nikonimglib.com/nvnx/

2 ダウンロードしたインストーラーのファイルをダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールする

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます

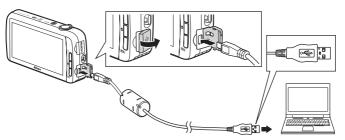
4 インストールを終了する

- Windows：[**はい**] をクリックします。
- Mac OS：[**OK**] をクリックする。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SDカードを入れたカメラの電源をONにして付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラに表示される画面でUSBストレージをONにします。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ内の記録媒体（SDカードと内蔵メモリー）またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
  - カメラとパソコンを接続したときは、転送したい画像がある記録媒体（SDカードまたは内蔵メモリー）を選んでください。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。
  - カメラ内の記録媒体（SDカードと内蔵メモリー）の画像を続けて転送したいときは、［**環境設定**］の［**転送後、接続を自動的に解除する**］のチェックを外してから、［**転送開始**］ボタンをクリックしてください。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。
  - ［**転送後、接続を自動的に解除する**］のチェックを外しているときは、1つの記録媒体から転送が終了すると、Nikon Transfer 2が自動的に終了してViewNX 2が起動します。続けて別の記録媒体から画像を転送したい場合は、ViewNX 2のツールバーから［**Trasnfer**］ボタンをクリックして、Nikon Transfer 2を起動させて、もう一度、画像をパソコンに取り込んでください。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源が ON の状態で、パソコンでリムーバブルディスクの取り外しをしてから、カメラに表示される画面でUSBストレージをOFFにして付属のUSBケーブルを取り外します。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 記録可能な残り時間がなくなると、撮影が自動的に終了します。

記録可能時間

記録可能な残り時間の目安が表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、「IN」が表示され、動画を内蔵メモリー（約1.7 GB）に記録します。
- イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

2 シャッターボタンを押して、撮影を終了する

- 画面をタッチしても動画の撮影開始/終了ができます。
→「タッチ撮影」（□72）

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能時間」が点滅しているときは、動画の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（☆17）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AFロック）します。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。動画撮影時は、光学ズームの最大倍率の約4倍まで作動します。
- シャッターボタンやズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、30秒後に撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数が画面に表示されます。
  自動終了後、5秒後に電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

オートフォーカスについてのご注意

- 動画メニューの［**AFモード**］がAF-S［**シングルAF**］（初期設定）の場合、動画撮影中は撮影を開始したときのピントに固定されます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置してシャッターボタンを半押しし、構図を変えてからシャッターボタンを全押しする。

動画の記録可能時間

動画設定（□72）	SDカード（4 GB）※
HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	約35分
HD 1080p（1920×1080）	約40分
HD 720p（1280×720）	約50分
VGA（640×480）	約2時間35分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。
内蔵メモリー（約1.7 GB）使用時の記録可能時間の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影の設定を変える

- マクロの設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□43）
- MENU（メニュー）ボタンを押すと（□2）、動画で設定できるメニュー項目が表示されます。→「動画メニューの種類」（□72）

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（動画メニュー）

動画モードでMENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- 動画撮影画面に戻るには、MENU（メニュー）ボタンを押します。

動画メニューの種類

動画では、以下の項目の設定が変更できます。

項目	内容	📖
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 • 通常速度の動画とスローモーション再生や早送り再生ができる HS（ハイスピード）動画があります。	⚭52
タッチ撮影	タッチ撮影のON（初期設定）、OFFを切り換えられます。	⚭53
AF **AFモード**	動画撮影開始時のピントに固定するAF-S［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返すAF-F［**常時AF**］を選べます。 ［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。 • ［**動画設定**］で HS 動画を選択したときは、［**シングル AF**］に固定されます。	⚭54
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 • ［**動画設定**］で HS 動画を選択したときは、［**OFF**］に固定されます。	⚭54

動画を再生する

再生モード（📖26）で動画を選び、▶をタッチする

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。
- 動画が再生されます。
- MENU（メニュー）ボタンを押して🔊をタッチすると、再生前に音量を調節できます。

動画再生中の操作

再生中にモニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
音量	🔊	タッチすると、音量を調節できます。	
巻き戻し	◀◀	タッチしている間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	タッチしている間、早送りします。	
一時停止	⏸	タッチすると、一時停止します。 一時停止中に以下の操作ができます。	
		▶	タッチすると、再生を再開します。
再生終了	■	タッチすると、1コマ表示に戻ります。	

✔ 動画再生について

COOLPIX S800c以外で撮影した動画は再生できません。

🖊 音量の調節について

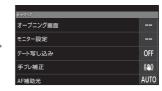
再生中にズームレバーの**T/W**（📖1）を回しても音量の調節ができます。

🖊 動画の削除について

「ステップ6　不要な画像を削除する」→📖28

カメラに関する基本設定

セットアップメニュー

セットアップメニューでは、以下の項目の設定が変更できます。

• モニターを上下にドラッグすると、画面をスクロールします。

項目	内容	📖
オープニング画面	［**COOLPIX**］を選ぶと、電源ON時に、オープニング画面（COOLPIXロゴ）を表示してから、撮影/再生画面を表示します。	⚙55
モニター設定	モニター表示設定、撮影後の画像表示を設定します。	⚙56
デート写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。 • 以下の場合は日時を写し込めません。 - シーンモードの［**スポーツ**］、［**逆光**］（［**HDR**］ON時）、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］（［**連写**］時）のとき - ベストフェイスモードの［**目つぶり軽減**］（📖54）が［**ON**］のとき - 連写の設定（📖53）が［**単写**］、［**マルチ連写**］以外のとき - 動画のとき	⚙57
手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。 • 三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。 • 手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます。［**OFF**］のときは何も表示されません。	⚙58

項目	内容	📖
AF補助光	［**AUTO**］時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光（📖1）が点灯します。 ・AF補助光が届く距離は約2.0 mです。 ・AF補助光の設定に関わらず、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。	➡59
電子ズーム	［**ON**］時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、電子ズームが作動します（📖23）。	➡59
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音を鳴らすかどうか設定します。	➡60
シャットダウンタイマー	節電のためにスタンバイ状態から電源OFFまでの時間を設定します。 ・**設定時間で電源がOFFになると作業中のデータはすべて失われます。**作業中のデータはスタンバイモードに入る前に必ず保存してください。	➡61
HDMI	テレビと接続するときの設定をします。 ・HDMIの設定ができます。	➡62
目つぶり検出設定	ベストフェイスモード以外で顔認識撮影（📖58）した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると［**目つぶり確認**］画面が表示され、撮影した画像を確認できます。	➡62
GPS**設定**	［**位置情報記録機能**］：［**ON**］にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります（撮影時）。初期設定は［**OFF**］です。 ［**日時合わせ**］：GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します（［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。 ［**A-GPSファイル更新**］：SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。 ・［**位置情報記録機能**］、［**日時合わせ**］、［**A-GPSファイル更新**］を使うときは、Android™ プラットフォームの設定メニュー［**現在地情報とセキュリティ**］→［**GPS機能を使用**］をONに設定してください。	➡64

セットアップメニュー

項目	内容	📖
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 • 基本設定の一部はリセットされません。	⚲68
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	⚲70

画像を共有する

画像をオンラインサービスにアップロードする

再生画面の☒（共有）から、共有したいオンラインサービスを選択して、撮影した画像や動画をアップロードすることができます。

- 画像をオンラインサービスにアップロードするには、インターネットの接続が必要です。Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください（□80）。
- オンラインサービスを使用するには、アプリケーションのインストールが必要です（□82）。
- オンラインサービスの操作方法などについては、オンラインサービスのサポートを参照ください。

1 再生画面で画像の表示方法を変更する

- 1コマずつアップロードするには、アップロードしたい画像や動画を1コマ表示します（□26）。
- 複数の画像をアップロードするには、サムネイル表示します（□62）。

2 1コマ表示またはサムネイル表示で☒をタッチしてWi-Fi（無線LAN）機能をONにする

3 ☒（共有）をタッチする

- 1 コマ表示から操作している場合は、手順6にすすみます。

4 アップロードしたい画像や動画をタッチする

- 選択した画像や動画にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。

5 OKをタッチする

6 表示されるリストから共有したいオンラインサービスのアプリケーションアイコンをタッチする

7 オンラインサービスのアプリケーションから画像や動画をアップロードする

- オンラインサービスのサポートに従って、操作してください。

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）アプリケーションなどの写真撮影機能についてのご注意

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）アプリケーションなどの写真撮影機能で撮影アプリケーションが選択できる場合は、COOLPIX S800cの撮影アプリケーションを選んでください。COOLPIX S800c以外の撮影アプリケーションでは、COOLPIX S800cの一部機能を使用できない場合があります。

my Picturetownアプリケーションについて

ニコンのWeb画像共有・保存サービス「my Picturetown」のアプリケーションをGoogle Playストアからダウンロードすることができます。ダウンロード方法について詳しくは、「Google Playストアを利用する（アプリケーションの入手）」（□94）を参照してください。

Android™プラットフォームを使う

はじめて電源をONにしたときは

ご購入後はじめて電源をONにすると、Android™プラットフォームのロゴが表示された画面が自動的に表示されます。画面の指示に従って各項目を設定します。設定せずに先に進むこともできます。

1 Android™プラットフォームのロゴをタッチする

- 表示言語を変更するには、画面下のボタンをタッチして言語を選択します。

2 Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する

- インターネットに接続するための Wi-Fi（無線 LAN）ネットワーク情報を設定します。
- Wi-Fi（無線LAN）接続には、Wi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境が必要です。

3 Googleアカウントを設定する

- Googleアカウントを設定すると、Google Playストアからアプリケーションをダウンロードしたり、Googleのサービスからさまざまな機能を利用することができるようになります。
- Google アカウントを設定するには、Wi-Fi（無線 LAN）ネットワーク環境、手順2の設定およびインターネットの接続が必要です。
- 設定せずに先に進むときは、ドラッグして表示される画面下のボタンをタッチしてください。

4 Google位置情報を設定する

- 現在位置をアプリケーションに反映できるようにします。

5 日付と時刻の設定をする

- 内蔵時計を設定します。
- 日時未設定のまま、日時の設定画面を終了すると、撮影画面で⏰が点滅します。

文字を入力するには

文字を入力する➝□86

設定をやり直すには

- Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する➝□80
- Googleアカウントを設定する➝□82
- 日付と時刻を設定する➝□84

Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 無線とネットワークをタッチする ➔ Wi-Fi設定

COOLPIX S800cでは、Wi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

1 ［Wi-Fi］のチェックボックスをタッチする

- Wi-Fi（無線LAN）機能がONになり、利用可能なWi-Fi（無線LAN）ネットワークが検出されます。
- Wi-Fi（無線LAN）機能がONになるまで、数秒かかる場合があります。
- 利用可能なWi-Fi（無線LAN）ネットワークが［**Wi-Fiネットワーク**］の下に表示されます。

2 接続したいWi-Fi（無線LAN）ネットワークをタッチして、［接続］をタッチする

- 接続が完了すると、Wi-Fi（無線LAN）ネットワーク名の下に接続状況が表示されます。
- Wi-Fi（無線LAN）ネットワーク名の横にあるアイコン表示で、オープンネットワークかまたはセキュリティで保護されたネットワークかを確認できます。
- セキュリティで保護された Wi-Fi（無線 LAN）ネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fi（無線LAN）ネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。
- 次回接続時には、本体にセキュリティキーが記録されているため、入力する必要はありません。

Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを切断するには

「Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する」（□80）の手順2でタッチしたWi-Fi（無線LAN）ネットワークをタッチし、［**切断**］をタッチします。

Wi-Fi（無線LAN）ネットワークについてのご注意

- 家庭内で構築したWi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境についての詳細やご不明な点は、サービス提供者にお問い合わせください。
- すべてのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境との接続を保証するものではありません。詳しくは、お取扱店またはサービス提供者までお問い合わせください。
- Wi-Fi（無線 LAN）機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することをおすすめします。

インターネット利用についてのご注意

インターネットを利用すると、いろいろな情報を検索することができますが、知らない間にウイルスに感染する可能性があります。
ウイルスに感染しているかどうか定期的にウイルスチェック（オンラインウイルススキャンなど）を行ったり、ウイルス対策ソフトを導入してウイルスの感染を予防することをおすすめします。

バッテリーの消費を抑えるには

Wi-Fi（無線LAN）機能をONにしているときは、無線通信を行っているため、バッテリーが通常よりも消費します。「Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する」（□80）の手順1の画面でチェックボックスをもう一度タッチしてWi-Fi（無線LAN）機能をOFFにします。

Googleアカウントを設定する

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ アカウントと同期

Googleアカウントを設定すると、Google Play ストアからアプリケーションをインストールしたり、Googleのサービスからさまざまな機能を利用することができます。
Googleアカウントは無料で取得でき、ユーザー名はメールアドレスとしても利用できます。
複数のアカウントをCOOLPIX S800cに登録できます。

- Googleアカウントを設定するには、インターネットの接続が必要です。Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください（📖80）。

1 ［アカウントを追加］をタッチする

2 ［Google］をタッチする

3 ［次へ］をタッチする

4 ［作成］をタッチする

5 画面の指示に従って設定する

Googleアカウントにログインするには

「Googleアカウントを設定する」（□82）の手順4の画面で［**ログイン**］をタッチします。

日付と時刻を設定する

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 日付と時刻

項目	内容
日付設定	内蔵時計の日付（年、月、日）を設定します。 • 項目の内容を合わせる：＋－をタッチする • 設定を完了する：［**設定**］をタッチする
タイムゾーンの選択	タイムゾーン（地域）を設定します。 • 現在いる地域のタイムゾーンをタッチする
時刻設定	内蔵時計の時刻を設定します。 設定方法は、［**日付設定**］と同じです。
24時間表示	24時間表示か12時間表示を設定します。 • 24時間表示にするときは、タッチしてチェックを付ける
日付形式	日付の表示順を、月/日/年、日/月/年、年/月/日から選べます。 • 表示させたい日付形式をタッチする

タイムゾーンの選択について

時刻を設定した後にタイムゾーンを変更すると、時刻も変更されます。

時計用電池について

カメラの時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、日時の設定を数日間、記憶できます。

撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（📖74）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（📖65）を使うと、日付を入れてプリントできます。

文字を入力する

文字入力は、画面上のキーボードを使用します。

文字、数字、記号の入力方法

- 入力エリアをタッチすると、キーボードが表示されます。
- キーをタッチして入力します。
- 入力が終わったら、確定をタッチして入力を確定します。

文字、数字、キーボードを切り換える

入力するときに使用する文字、数字、キーボードタイプを変更できます。

- 文字入力画面で、文字 あA1を長押しします。
- キーボードタイプアイコンをタッチすると、キーボードが切り換わります。

- 文字や数字のアイコンをタッチすると、キーボードの文字や数字が切り換わります。

テキスト入力について

- ドラッグしてテキストを選択したり、切り取り、コピー、貼り付けなどもできます（□87）。
- キーボードを隠したいときは、⮌（バック）ボタンを押してください。

機能キーについて

文字や数字以外のタッチキーで以下の操作ができます。

タッチキー	内容
⇧	大文字／小文字、記号を切り換えます。
⌫ DEL	カーソル位置の前の文字を削除します。
文字 あA1	長押しして文字、数字、キーボード切り換えウィンドウを表示します（86）。タッチすると、タッチするたびにキーボードの表示を「ひらがな」→「半角英字」→「半角数字」の順に切り換えることができます。
記号	入力できる記号を表示します。
変換 / 変換	入力中の文字を変換します。
確定	文字変換を確定、または改行します。
⮌ (12キーボードのみ)	1つ前の文字を表示します。
⬅ / ➡ (12キーボードのみ)	カーソルを移動します。
゛゜大⇔小 / A⇔a (12キーボードのみ)	濁点を付けたり、大文字／小文字を切り換えます。

テキストを編集する

文字が入力された状態でテキストボックスを長押しします。
状況によって表示される以下の項目を使ってテキストを編集します。

項目	内容
語句を選択	スライダーをドラッグし、入力したテキストの一部を選択します。
すべて選択	入力したテキストをすべて選択します。
入力方法	数種類のキーボードから選択できます。 ［**Japanese IME**］では、日本語の入力ができます。
切り取り	［**語句を選択**］または［**すべて選択**］で選択したテキストを切り取ります。
コピー	［**語句を選択**］または［**すべて選択**］で選択したテキストをコピーします。
貼り付け	［**切り取り**］または［**コピー**］したテキストを貼り付けます。

Android™プラットフォームの基本操作

ホーム画面を表示する

- どの画面からでも🏠（ホーム）ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。
- 表示される情報は、Android™プラットフォームの設定や状態によって異なります。

1	ステータスバー	90
2	ドックエリア	89
3	画面位置表示	89
4	ショートカット（アプリケーション）	92

ホーム画面からカメラの撮影画面または再生画面を起動するには

カメラの撮影画面を起動するには、（撮影）アプリケーションをタッチします。
カメラの再生画面を起動するには、（再生）アプリケーションをタッチします。

ウィジェットを活用する

よく使うウィジェットは、ホーム画面に配置しておくと便利です。例えば、［**電源管理**］ウィジェットを配置しておくと、ホーム画面で画面の明るさを調整したり、Wi-Fi（無線LAN）機能やGPS機能などをON/OFFしたりできます。

［電源管理］ウィジェット

- ウィジェットを配置する：ホーム画面を長押し→［**ウィジェット**］を選択→［**ウィジェット選択**］からお好みのウィジェットを選択
- ウィジェットを削除する：ウィジェットを長押し→画面右のゴミ箱にドラッグ

アプリケーション画面を表示する

- アプリケーション画面には、インストールされているアプリケーションのアイコンが表示されます。
- ホーム画面でドックエリアの アイコンをタッチすると、アプリケーション画面が表示されます。
- 表示される情報は、Android™プラットフォームの設定や状態によって異なります。
- ホーム画面に戻るには、（バック）ボタンを押すか、をタッチします。

1 アプリケーション .... 93　**2** アイコン

アプリケーションを起動/待機状態にするには

アプリケーションを起動するには、アプリケーションのアイコンをタッチします。

アプリケーションを待機状態にするには、（バック）ボタンまたは、（ホーム）ボタンを押します。アプリケーションが待機状態のままだと、バッテリーを消費します。アプリケーションを完全に終了するには、設定メニュー（□91）の［**アプリケーション**］でアプリケーションの管理画面から実行中のアプリケーションを停止させてください。

画面を切り換える

ホーム画面およびアプリケーション画面は複数の画面で構成されており、ホーム画面では左右にフリック、アプリケーション画面では上下にフリックすると、今の画面を他の画面に切り換えることができます。切り換えた画面の画面位置は、画面位置表示（□88）で確認できます（ホーム画面時）。

ステータスバーと通知パネル

ステータスバー

画面上部のアイコンが表示されている部分をステータスバーといいます。
左側には新着メールやダウンロード、インストールといった実行中の動作を知らせるアイコンが表示されます。右側には、Wi-Fi（無線LAN）ネットワークやBluetooth機能、バッテリーの残量などCOOLPIX S800cの状態を示すアイコンが表示されます。
ステータスバーを下へドラッグすると、通知パネルが表示されます。

通知パネル

通知パネルでは、通知の詳細を確認することができます。通知パネルで通知をタッチして、直接アプリケーションを起動することもできます。

ステータスバー

通知パネル

Android™プラットフォームの設定メニューを使う

ホーム画面またはアプリケーション画面でMENU（メニュー）ボタン→［**設定**］をタッチすると、以下の項目が設定できます。

項目	内容	📖
無線とネットワーク	Wi-Fi設定、Bluetooth設定などの通信に関する設定を行います。	80、⚯17、⚯71
音	選択時の操作音などの音に関する設定を行います。	⚯72
表示	画面の明るさ、画面オフなどの画面表示に関する設定を行います。	⚯72
現在地情報とセキュリティ	［**GPS機能を使用**］でGPS機能をONにしたり、セキュリティに関する設定を行います。	⚯73
アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。	89
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	82
プライバシー	データのバックアップの設定や、データの初期化、カメラの再起動を行います。	⚯73、⚯74
ストレージ	SDカードやCOOLPIX S800c本体内のメモリー容量の確認、SDカードの初期化などを行います。	⚯74
言語とキーボード	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	⚯75
音声入出力	音声認識を設定したり、テキストの読み上げの設定を行います。	–
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	–
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。	84
端末情報	電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェアのバージョンの確認や、更新もここから行います。	–

オプションメニューを使う

ホーム画面またはアプリケーション画面でMENU（メニュー）ボタンを押すと、以下の項目の設定ができます。

項目	内容	📖
追加	ホーム画面にウィジェットやショートカットを追加できます。ショートカットなどを整理したいときは、フォルダーを作成することもできます。 また、ホーム画面の背景を変更したいときは、壁紙から変更できます。	–
アプリの管理	インストールされたアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションの削除などができます。	–
壁紙	画像を選択してホーム画面の壁紙を変更できます。	–
検索	Google™ 検索画面を起動します。	93
通知	通知パネルを表示します。	90
設定	Android™プラットフォームの設定メニューを表示します。	91

画面ロックについてのご注意

- ［**現在地情報とセキュリティ**］→［**画面ロックの設定**］で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。
- 画面ロックの解除方法の設定は、メモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- 画面ロックの解除方法を忘れた場合は、画面ロックの解除ができません。ニコンサービス機関にお問い合わせください。

アプリケーションを使う

インターネットサービスを利用するには、インターネットの接続が必要です。Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください（📖80）。

情報を検索する

COOLPIX S800cに保存したファイルやインターネット上の情報を検索できます。

ホーム画面→MENU（メニュー）ボタン→［**検索**］をタッチすると、検索画面が表示されます。

- 検索するキーワードを入力し、確定をタッチするか、検索候補をタッチすると、検索結果が表示されます。文字の入力については、「文字を入力する」（📖86）を参照してください。
- 検索し直すには、↩（バック）ボタンを押します。

インターネットを利用する

パソコンと同じようにブラウザを使ってインターネット上の情報を検索できます。

- ホーム画面の（ブラウザ）をタッチし、ブラウザを起動します。
- ブラウザ画面上部のアドレスバーをタッチします。
- URLまたは検索キーワードを入力し、→または確定をタッチするか、検索候補をタッチすると、ホームページが表示されます。入力方法については、「文字を入力する」（📖86）をご覧ください。
- 検索し直すには、↩（バック）ボタンを押します。

Google Playストアを利用する（アプリケーションの入手）

1 アプリケーション画面で アイコンをタッチする

- Google Play ストアを初めて開くと利用規約が表示されます。

2 ダウンロードしたいアプリケーションをカテゴリまたは、キーワードで検索してタッチする

3 説明やレビューなどの情報を確認し、画面の指示に従ってダウンロードする

アプリケーションのインストールについてのご注意

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破損などが発生する可能性があります。ウイルスに感染しているかどうか定期的にウイルスチェック（オンラインウイルススキャンなど）を行ったり、ウイルス対策ソフトを導入してウイルスの感染を予防することをおすすめします。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- COOLPIX S800cは、すべてのアプリケーションの動作を保証するものではありません。

撮影アプリケーションについてのご注意

- COOLPIX S800c以外の撮影アプリケーションでは、COOLPIX S800cの一部機能を使用できない場合があります。COOLPIX S800cの機能を充分に発揮したいときは、（ホーム）ボタンを押し、ホーム画面で［**撮影**］アイコンをタッチして、COOLPIX S800cの撮影アプリケーションを使用してください（89）。
- 動画撮影するときは、COOLPIX S800cの撮影アプリケーションをお使いください（69）。

プリインストールのアプリケーションについて

お買い上げ時には、各種アプリケーションがインストールされています。
COOLPIX S800c に搭載されているGoogle Inc.提供の各種アプリケーションについての詳細は、下記サイトからご覧になれます。なお、下記サイトは、アプリケーション開発元であるGoogle Inc. にて管理されており、サイト構成は予告なく変更される可能性があります。
http://www.google.com/support/mobile/?hl=ja

詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

再生

メニュー

Android™プラットフォーム

資料

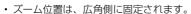
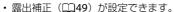
かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）

かんたんパノラマの撮影方法

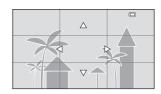
撮影画面にする ➔ 📷（撮影モード）アイコン※ ➔ SCENE シーンモード ➔
▭（かんたんパノラマ）

※ アイコンは、撮影モードによって異なります。

撮影する範囲をSTD［**標準（180°）**］（初期設定）またはWIDE［**ワイド（360°）**］から選べます。→「撮影する範囲を変更するには」（⚭3）

1 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面に格子のガイドが表示されます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 露出補正（📖49）が設定できます。

- 主要被写体にピントや露出が合わないときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（📖60）をお試しください。

2 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す ▷ マークが表示されます。

3 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。

カメラの動かし方の例

- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように、ガイドの端から端まで動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（STD［**標準（180°）**］時）、または約30秒（WIDE［**ワイド（360°）**］時）が経過すると撮影は終了します。

かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

撮影する範囲を変更するには

- かんたんパノラマでMENU（メニュー）ボタンを押して□をタッチし、STD［**標準（180°）**］またはWIDE［**ワイド（360°）**］をタッチします。
- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
  - ［**標準（180°）**］：水平に移動時3200×560、垂直に移動時1024×3200
  - ［**ワイド（360°）**］：水平に移動時6400×560、垂直に移動時1024×6400
  - カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向とタテとヨコの組み合わせが入れ換わります。

かんたんパノラマの再生方法（スクロール再生）

再生モードにして（□26）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示すると、▶が表示されます。
▶をタッチすると、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

- 画面をドラッグすると（□4）、指の動きに合わせて表示範囲をスクロールすることもできます。

画面をタッチして、以下の操作ができます。

機能	操作	
一時停止	画面をタッチすると、一時停止します。	
	手動スクロール	一時停止中に画面をドラッグすると（□4）、指の動きに合わせて表示範囲をスクロールします。
	自動スクロール再開	一時停止中に画面をタッチすると、自動スクロールを再開します。
再生終了	↩（バック）ボタンを押します。	

✓ かんたんパノラマ画像のスクロール再生についてのご注意

COOLPIX S800c以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類とご注意

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。以下の機能で編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（E76）。

編集の種類	用途
簡単レタッチ（E7）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（E8）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
フィルター効果（E9）	デジタルフィルターでいろいろな効果をつけます。効果の種類には、［**ピクチャーカラー**］、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］があります。
美肌（E11）	人物の顔の肌をなめらかにします。
スモールピクチャー（E12）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（E13）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像回転についてはE49ページをご覧ください。

画像編集についてのご注意

- COOLPIX S800c以外で撮影した画像は編集できません。
- ［**かんたんパノラマ**］（38）で撮影した画像は編集できません。画像回転（E49）はできます。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません（E11）。
- COOLPIX S800c以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S800cで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
簡単レタッチ D-ライティング フィルター効果	スモールピクチャー、美肌またはトリミングができます。
美肌	美肌以外の編集ができます。
スモールピクチャー	追加編集できません。
トリミング	追加編集できません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（🕮54）にも、美肌の編集ができます。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プロテクト設定（⚯44）またはプリント指定（⚯46）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ 簡単レタッチ

1 効果の度合いを選び、OKをタッチする

2 ［はい］をタッチする

- レタッチした画像が作成されます。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→76

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ D-ライティング

1 OKをタッチする

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

2 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→76

フィルター効果（デジタルフィルター）

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ フィルター効果

種類	内容
ピクチャーカラー	カラーフィルターで画像の色調を変えます。 色調の種類はVI（ビビッドカラー）、BW（白黒）、SE（セピア）、C（クール）があります。
SOFT ソフト	タッチした部分の周りを、ぼかしたようにソフトな雰囲気にします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。

1 設定したい効果のアイコンをタッチする

2 効果を調節する

- ［**ピクチャーカラー**］：色調を選び、OKをタッチします。
- ［**ソフト**］：効果をつけたい部分をタッチしたら、効果の度合いを選び、OKをタッチします。
- ［**セレクトカラー**］：スライダーをタッチして残したい色合いを選び、OKをタッチします。
- ［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］：効果を確認し、OKをタッチします。
- ↩（バック）ボタンを押すと、効果をつけずに手順1の画面に戻ります。

3 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- フィルター効果で作成した画像は、再生画面で🖉が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→🔗76

美肌（肌をなめらかにする）

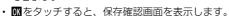
再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ 美肌

1 効果の度合いをタッチする

- 確認画面になり、美肌編集した顔が拡大表示されます。

2 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- をタッチすると、処理前の画像と処理後の画像を切り換えます。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、またはをタッチすると、顔の切り換えができます。

- OKをタッチすると、保存確認画面を表示します。

3 ［はい］をタッチする

- 美肌編集した画像が作成されます。
- 美肌編集で作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

美肌についてのご注意

- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません。
- 顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→76

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ スモールピクチャー

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。

- ［**4608×2592**］または［**1920×1080**］以外の画像は、［**1600×1200**］、［**640×480**］、または［**320×240**］からサイズを選べます。［**4608×2592**］または［**1920×1080**］の画像は、640×360のサイズになります。

1 作成したいスモールピクチャーのサイズのアイコンをタッチしてOKをタッチする

- ［**4608×2592**］または［**1920×1080**］の画像はサイズを選べません。OKをタッチしてください。

2 ［はい］をタッチする

- スモールピクチャーが作成されます（圧縮率約1/16）。
- スモールピクチャーで作成した画像は、再生時に画面全体より小さいサイズで表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→76

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□61）中に✂が表示されている画像は、モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 トリミングしたい画像を拡大表示する（□61）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを **T**（Q）または **W**（▦）方向に回して拡大率を調節します。
- 画像をドラッグして表示範囲を移動します。

3 ✂をタッチする

- ✂が表示されないときは、✂が表示される拡大率にしてください。
- 縦位置の画像は、拡大率が小さすぎるとトリミングできません。

4 ［はい］をタッチする

- トリミング画像が作成されます。
- トリミングで作成した画像は、再生画面で✂が表示されます。

画像サイズについて

- 縦横比16：9でトリミングされます。切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
- トリミングして画像サイズが640×360よりも小さくなった画像は、トリミングした画像として保存できません。

縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

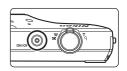
［**画像回転**］（E49）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。

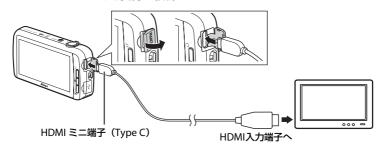
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→E76

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。HDMI端子が付いたテレビを、市販のHDMIケーブルで接続します。

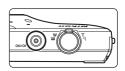
1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。
- テレビのHDMI入力端子に接続します。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をONにする

- 撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビ接続中の操作➞🔗16

詳細編

テレビ接続中の操作

テレビに1コマ表示されているときに、カメラのモニターをドラッグすると、前後の画像を表示できます。
またカメラのモニターを操作して、通常の再生モードと同様にサムネイル表示（□62）、および拡大表示（□61）ができます。
動画の最初のフレームが表示されたときは、カメラのモニターを約1秒タッチすると動画を再生できます。

- 動画再生中にカメラのモニターをタッチすると、カメラのモニターに操作パネルのみ表示されます。操作パネルのアイコンをタッチして操作します（□73）。

HDMI接続についてのご注意

- HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMI ミニ端子（Type C）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMI ミニ端子のものをお選びください。
- 撮影時の設定は、静止画の［**画像モード**］（⚭26）は 4M［**2272 × 1704**］以上、動画の［**動画設定**］（⚭52）は 720p30［**HD 720p（1280×720）**］以上をおすすめします。

ケーブル接続時のご注意

カメラにHDMIケーブルとUSBケーブルを同時に接続しないでください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニュー（□74）→［**HDMI**］（⚭62）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

Bluetooth機器での音声再生

COOLPIX S800cでは、Bluetooth対応ヘッドフォンなどと接続して、ワイヤレスでカメラの動画の音声を聞くことができます。
あらかじめBluetooth機器をカメラに登録する必要があります。カメラにBluetooth機器を登録したら、カメラとBluetooth機器を接続します。

- COOLPIX S800cは、「A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）」のBluetoothプロファイルに対応しています。
- COOLPIX S800cのBluetooth機能は、すべてのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。
- Bluetooth機器によっては、正しく接続できないことがあります。
- Bluetooth機器の操作方法などについては、Bluetooth機器の説明書を参照してください。

1 Bluetooth機器を有効にする

- Bluetooth機器が検出可能な状態になります。

2 カメラでホーム画面を表示して、MENU（メニュー）ボタンを押し、［設定］をタッチする

3 ［無線とネットワーク］→［Bluetooth設定］をタッチする

詳細編

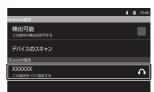
4 [Bluetooth] のチェックボックスをタッチする

- カメラの Bluetooth 機能が ON になります。

5 [デバイスのスキャン] をタッチする

- カメラが Bluetooth 機器の検出を開始します。
- 検出が終了すると、周囲の利用可能な Bluetooth機器が一覧表示されます。

6 一覧から登録したいBluetooth機器名をタッチする

- カメラが Bluetooth 機器の登録を開始します。
- 登録が完了すると、登録した Bluetooth 機器名の下に接続状況が表示されます。
- Bluetooth 機器によっては、登録が完了すると、続けて接続まで行う場合があります。

7 登録した Bluetooth 機器名を長押しし、[接続] をタッチする

- カメラが Bluetooth 機器との接続を開始します。
- 接続が完了したら、再生画面を表示させます。

8 動画を再生する（□73）

- Bluetooth 機器から動画の音声が再生されます。

詳細編

Bluetooth機器の登録を解除するには

「Bluetooth機器での音声再生」（E17）の手順6の画面で一覧から接続しているBluetooth機器名を長押しして、［**ペアを解除**］をタッチします。

登録するBluetooth機器について

Bluetooth機器によっては、登録時にパスキー（パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワード）の入力画面が表示されます。相手側の機器のパスキーを確認して、入力してください。

バッテリーの消費を抑えるには

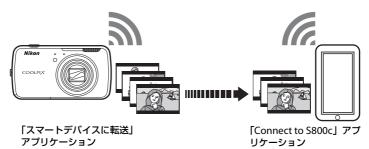
Bluetooth機能をONにしているときは、無線通信を行っているため、バッテリーが通常よりも消費します。「Bluetooth機器での音声再生」（E17）の手順4の画面でチェックボックスをもう一度タッチしてBluetooth機能をOFFにします。

スマートデバイスに画像を転送する

COOLPIX S800cでは、「スマートデバイスに転送」アプリケーションを使って、カメラからWi-Fi（無線LAN）対応のスマートデバイスに画像や動画を転送することができます。スマートデバイスには、「Connect to S800c」アプリケーションのインストールが必要です。
この機能は、カメラをアクセスポイント（親機）、スマートデバイスをクライアント（子機）として、カメラの画像や動画をスマートデバイスにWi-Fi（無線LAN）経由で転送します。

- スマートデバイスの操作方法などについては、スマートデバイスの説明書を参照してください。

「スマートデバイスに転送」アプリケーション

「Connect to S800c」アプリケーション

スマートデバイスに「Connect to S800c」アプリケーションをインストールする

カメラからスマートデバイスに画像や動画を転送するには、あらかじめスマートデバイスに「Connect to S800c」アプリケーションをインストールしておく必要があります。インストールの手順は以下のとおりです。

1 マーケットから「Connect to S800c」アプリケーションをダウンロードする

- 「Connect to S800c」のキーワードで、マーケットからアプリケーションを検索します。

2 「Connect to S800c」アプリケーションをインストールする

マーケットとは

Google社のAndroid™プラットフォームを搭載した機器向けのGoogle Playストア、またはApple社のiOSを搭載した機器向けのApp Storeなどのアプリケーションソフトの配信サービスの総称です。

かんたん接続設定（カメラとスマートデバイスを自動で接続する）

カメラとスマートデバイスを自動で接続するときは、Wi-Fi（無線LAN）機能をONに設定します。→「Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する」（□80）
かんたん接続設定を行ったスマートデバイスであれば、次回からの接続設定は必要ありません。→「かんたん接続設定についてのご注意」（⚭23）

1 カメラで「スマートデバイスに転送」アプリケーションを起動する

- スマートデバイスで「Connect to S800c」アプリケーションを起動します。
- アプリケーションの起動方法については、「アプリケーションを起動/待機状態にするには」（□89）を参照してください。

2 カメラで［かんたん接続設定］をタッチする

- 続けてスマートデバイスで［**かんたん接続設定**］をタッチします。

3 カメラで［START］をタッチする

- 続けてスマートデバイスで［**START**］をタッチします。

詳細編

4 カメラとスマートデバイスで［検索中］画面の状態のまま、カメラとスマートデバイスを近づける

5 カメラがスマートデバイスを検出するのを待つ

- iOS 搭載のスマートデバイスをお使いの場合は、「Wi-FiをONにして、カメラのSSIDを指定してください」のメッセージが表示されます。以下の設定を行ってください。
  - Wi-Fi（無線LAN）機能がONかどうか確認し、Wi-Fi（無線LAN）機能がOFFの場合、ONにする
  - Wi-Fi（無線 LAN）機能を ON にすると表示されるネットワークの一覧から、カメラの画面に表示されているSSIDのネットワークを選択する

  設定が終わったら、もう 1 度「Connect to S800c」アプリケーションの画面を表示させます。
- カメラがスマートデバイスを検出すると、認証画面が表示されます。

6 カメラとスマートデバイスの画面の数字が一致しているか確認する

- 画面の数字が一致していれば、次の手順に進みます。

7 カメラとスマートデバイスの画面で［OK］をタッチする

- かんたん接続設定完了画面が表示されるので、［**OK**］をタッチして設定を完了します。
- iOS搭載のスマートデバイスをお使いの場合は、プロファイルインストール画面が表示されます。自動的にプロファイルのインストールが始まります。インストールが終わるまでお待ちください。
  - JavaScript が無効の場合、正常に設定を完了できません。初期設定のブラウザアプリケーションでJavaScriptを有効にしてください。
  - プロファイルのインストールをキャンセルした場合は、かんたん接続設定をやり直してください。
  - 正常に設定が完了しなかった場合は、プロファイルをアンインストールしてから、インストールしなおしてください。

かんたん接続設定についてのご注意

- 複数のスマートデバイスとかんたん接続設定はできません。かんたん接続設定ができるスマートデバイスは、1台のみです。
- 他のスマートデバイスとかんたん接続設定をすると、最新の接続設定に上書きされます。前回の接続設定は残りません。前回と同じの接続設定をするには、前回と同じスマートデバイスで、もう一度かんたん接続設定をしてください。
- iOS 4.x搭載のスマートデバイスで前回と同じ接続設定をやり直すには、前回インストールしたカメラのプロファイルをアンインストールしてから、もう一度かんたん接続設定をしてください。

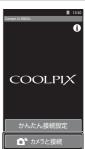
カメラからスマートデバイスに画像を転送する

1 カメラで［サービス開始］をタッチする

2 スマートデバイスで［カメラと接続］をタッチする

- あらかじめ設定した接続設定でカメラと接続を開始し、［**検索中**］画面を表示します。
- iOS 搭載のスマートデバイスをお使いの場合は、「Wi-FiをONにして、カメラのSSIDを指定してください」のメッセージが表示されます。以下の設定を行ってください。
  - Wi-Fi（無線LAN）機能がONかどうか確認し、Wi-Fi（無線LAN）機能がOFFの場合、ONにする
  - Wi-Fi（無線 LAN）機能を ON にすると表示されるネットワークの一覧から、カメラの画面に表示されているSSIDのネットワークを選択する

設定が終わったら、もう１度「Connect to S800c」アプリケーションの画面を表示させます。

詳細編

3 カメラとスマートデバイスで［検索中］画面の状態のまま、カメラとスマートデバイスを近づける

- 接続が完了すると、スマートデバイスに転送画像選択画面が表示されます。表示される画像や動画は、カメラ内にある画像や動画の一覧です。

4 転送したい画像や動画をスマートデバイスで選ぶ

- 1コマずつ選択する：転送したい画像や動画をタッチしてチェックマークを表示します。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- すべて選択する：ALL をタッチすると、表示画面内の画像や動画をすべて選択します。
- すべて解除する：ALL をタッチすると、表示画面内の画像や動画の選択をすべて解除します。
- フォルダーを変更する：をタッチしてフォルダーの選択画面を表示します。もう一度をタッチすると、内蔵メモリーまたはSDカードから選択できます。転送したい画像があるフォルダーを選択すると、そのフォルダー内の画像を選べるようになります。

5 スマートデバイスでをタッチする

- 選択した画像がカメラからスマートデバイスに転送されます。
- 転送が終わると転送完了画面が表示されます。

6 スマートデバイスで転送結果を確認し、［OK］をタッチする

- 手順4の画面に戻ります。

「Connect to S800c」アプリケーションの設定を変更する

手順4の画面右上のメニューアイコンをタッチすると、選択画面オプションメニューが表示され、設定を変更することができます。

（画像サイズ制限）

転送時の画像サイズの上限を設定できます。画像サイズの上限を超える場合、カメラで設定された画像サイズにリサイズを行ってから転送します。設定できる項目は、以下のとおりです。
転送時の画像サイズの上限を設定するには、をタッチし、項目をタッチして制限を選び、OKをタッチします。

項目	内容
なし（初期設定）	撮影した画像サイズのまま、転送します。
1600×1200（4:3） 1920×1080（16:9）	1600×1200（4:3）/ 1920×1080（16:9）を転送時の画像サイズの上限として、設定します。
640×480（4:3） 640×360（16:9）	640×480（4:3）/ 640×360（16:9）を転送時の画像サイズの上限として、設定します。

（通信切断）

カメラとスマートデバイスのWi-Fi（無線LAN）接続を切断したいときは、をタッチし、確認画面で［**はい**］をタッチします。

撮影メニュー（（オート撮影）モード）

画像モード（画像サイズ/画質）

（オート撮影）モードの撮影画面にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → 画像モード

撮影メニューの［**画像モード**］で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。
画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード※	内　容
4608×3456★	よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
4608×3456（初期設定）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
3264×2448	
2272×1704	
1600×1200	、、よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4：3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
4608×2592	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は1/8です。
1920×1080	

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例： 4608×3456：約16メガピクセル＝4608×3456ピクセル

詳細編

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます（動画撮影を除く）。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（55）
- シーンモード（32）の［**かんたんパノラマ**］に設定時は画像モードを選べません。

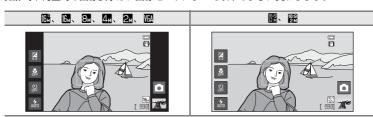
記録可能コマ数

4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。
内蔵メモリー（約1.7 GB）使用時の記録可能コマ数の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

画像モード		SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
16M★	4608×3456★	約470コマ	約39×29 cm
16M	4608×3456	約930コマ	約39×29 cm
8M	3264×2448	約1820コマ	約28×21cm
4M	2272×1704	約3610コマ	約19×14 cm
2M	1600×1200	約6750コマ	約13×10 cm
VGA	640×480	約23900コマ	約5×4 cm
16:9 12M	4608×2592	約1230コマ	約39×22 cm
16:9 2M	1920×1080	約6320コマ	約16×9 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

画像モードとモニターの表示について

撮影時や再生時の画像表示は、画像モードによって以下のように変わります。

タッチ撮影

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ タッチ撮影

- （オート撮影）モード以外でも、［**タッチシャッター**］および［**タッチAF/AE**］が使えます。撮影モードによって、動作が異なります（E30、E34）。

項目	内容	
タッチシャッター（初期設定）	画面にタッチするだけで、シャッターがきれます。	E29
ターゲット追尾	動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録すると、ターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。	E31
タッチAF/AE	オートフォーカスでピント合わせをするAFエリアを、画面にタッチして選べます。シャッターボタンを押すと、選んだエリアでピントと露出が合いシャッターがきれます。	E33

画面にタッチしてシャッターをきる（タッチシャッター）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ //タッチ撮影をタッチする ➔ タッチシャッター

ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- モニターにタッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがありますのでご注意ください。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。
- タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- モニターにタッチして［ ］が表示されたときは、シャッターがきれません。［ ］の内側または顔認識して表示される枠をタッチしてください。

タッチシャッターについてのご注意

- ［**連写**］（36）の［**単写**］、［**マルチ連写**］以外を使って撮影するときや、シーンモード（32）の［**スポーツ**］で撮影するときは、シャッターボタンを押して撮影してください。タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
- 誤って画面に触れてシャッターをきらないようにご注意ください。タッチ撮影の設定を［**タッチAF/AE**］に切り換えると（33）、画面にタッチしてもシャッターがきれないようにできます（一部のシーンモードを除く）。
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮影すると、ピントが合わないことがあります（25）。
- セルフタイマー（46）を設定してから、画面の被写体をタッチすると、ピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（55）

タッチ撮影の設定について

（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

詳細編

タッチシャッターが使える撮影モードについて

（オート撮影）モード以外でも、タッチシャッターを使えます。撮影モードによって、タッチシャッターの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチシャッターの動作
（らくらくオート撮影）モード（30）、ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［OFF］のとき）（41）	• 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチしてください。タッチした顔にカメラがピントと露出を合わせます。 • 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
（オート撮影）モード（31）、シーンモード（32）の［スポーツ］/［パーティー］/［ビーチ］/［雪］/［クローズアップ］/［料理］/［モノクロコピー］/［逆光］、スペシャルエフェクトモード（40）	タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（32）の［ポートレート］/［夜景ポートレート］	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（32）の［風景］/［夕焼け］/［トワイライト］/［夜景］/［打ち上げ花火］/［かんたんパノラマ］	シャッターボタンを押して撮影するときと同じAFエリアで、ピントと露出を合わせます。詳しくは、「シーンを選んで撮影する（シーンモードの種類と特徴）」（34）をご覧ください。
ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［ON］のとき）（41）	タッチシャッターは使えません。
シーンモード（32）の［ペット］	［**ペット自動シャッター**］が［**ON**］のとき：タッチシャッターは使えません。 ［**OFF**］のとき：ペット認識して表示される枠以外は選べません。複数のペットを認識したときは、一重枠で囲まれたペットの顔をタッチすると、その顔にカメラがピントを合わせます。

動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ ///タッチ撮影をタッチする ➔ ターゲット追尾

撮影モードが、（オート撮影）モード以外のときは、（ターゲット追尾）を使えません。

1 被写体を登録する

- ピントを合わせたい被写体に画面上でタッチします。
  - 被写体が登録されます。
  - 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチすると、顔が登録され、ターゲット追尾が始まります。複数の人物を認識していた場合、登録された顔以外の枠の表示が消えます。
  - 顔以外の被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
  - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録できない場所をタッチしたときは、モニターに[ ]が表示されます。[ ]で囲まれた範囲内で、タッチしてください。
- ターゲットを変えたいときは、もう一度ピントを合わせたい被写体をタッチしてください。
- 被写体の登録を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- カメラがターゲットを見失ってAFエリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しして AF エリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアの表示がない状態でシャッターボタンを半押しすると、ピントは画面中央に合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ターゲット追尾中は、常にピントを合わせる動作音がします。
- ズーム位置や撮影時の設定（□31）は、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□60）をお試しください。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（□55）

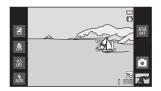
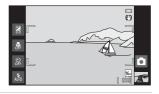
タッチ撮影の設定について

ターゲット追尾での被写体の登録は、電源をOFFにすると解除されます。

画面にタッチしてピントを合わせる（タッチAF/AE）

A（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ タッチ撮影をタッチする ➔ タッチAF/AE

1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所には、〚 〛または二重枠のAFエリアが表示されます。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは選べません。
- AFエリアの選択を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- AFエリアに選べない場所をタッチしたときは、モニターに［ ］が表示されます。［ ］で囲まれた範囲内で、タッチしてください。

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。

タッチAF/AEについてのご注意

オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります（25）。

タッチ撮影の設定について

A（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

タッチAF/AEが使える撮影モードについて

🔲（オート撮影）モード以外でも、タッチAF/AEを使えます。撮影モードによって、タッチAF/AEの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチAF/AEの動作
🔲（らくらくオート撮影）モード（🕮30）、ベストフェイスモード（[笑顔自動シャッター]が[OFF]のとき）（🕮41）	・顔認識しているときは、枠で囲まれた顔以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。 ・顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
🔲（オート撮影）モード（🕮31）、シーンモード（🕮32）の[スポーツ]/[パーティー]/[ビーチ]/[雪]/[クローズアップ]/[料理]/[モノクロコピー]/[逆光]、スペシャルエフェクトモード（🕮40）	タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（🕮32）の[ポートレート]/[夜景ポートレート]	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。
シーンモード（🕮32）の[風景]/[夕焼け]/[トワイライト]/[夜景]/[打ち上げ花火]/[かんたんパノラマ]、ベストフェイスモード（[笑顔自動シャッター]が[ON]のとき）（🕮41）	タッチAF/AEは使えません。
シーンモード（🕮32）の[ペット]※1	［**ペット自動シャッター**］が［**ON**］のとき：タッチAF/AEは使えません。 ［**OFF**］のとき：ペット認識して表示される枠以外は選べません。複数のペットを認識したときは、一重枠で囲まれたペットの顔をタッチすると、その顔にカメラがピントを合わせます。

※1 ペット自動シャッターを［**OFF**］にすると、タッチシャッター（初期設定）またはタッチAF/AEを選べます。

ISO ISO感度設定

（オート撮影）モードの撮影画面にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → ISO ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。
ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO **オート（初期設定）**	明るい場所ではISO 125になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。
感度制限オート	カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲をISO125からISO400までに制限します。ISO感度の上限値を400に設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
125、200、400、800、1600、3200	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度設定についてのご注意

- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（55）
- ISO感度設定を［**オート**］以外にすると、モーション検知（25）は作動しません。

連写

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。

項目	内容
単写（初期設定）	1コマずつ撮影します。
連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、約8コマ/秒で連写できます（画像モードが［**4608×3456**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすか、3コマ連写すると、撮影を終了します。
連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約1.4コマ/秒で約18コマまで連写できます（画像モードが［**4608×3456**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。
120 **高速連写**120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/120秒以上の高速シャッタースピードで50コマ連写します。記録される画像モードは（画像サイズ：640 × 480ピクセル）に固定されます。
60 **高速連写**60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/60秒以上の高速シャッタースピードで25コマ連写します。記録される画像モードは（画像サイズ：1280 × 960 ピクセル）に固定されます。
BSS **BSS（ベストショットセレクター）**	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

項目	内容
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 ・記録される画像モードは（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 ・電子ズームは使えません。

連写についてのご注意

- ［**単写**］以外にして撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、画像モード、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- ［**連写**］の設定を［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］で撮影するときは、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「組み合わせて使えない機能」（55）

BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→25

WB ホワイトバランス（色合いの調整）

（オート撮影）モードの撮影画面にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（39）をご覧ください。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（44）。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、[**オート**]や[**電球**]などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。
以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 MENU（メニュー）ボタンを押し、WB をタッチする

3 PREをタッチする

- レンズが測定用のズーム位置になります。
- 測定せずに設定画面を終了するには、OK をタッチするか、[バックアイコン]（バック）ボタンを押します。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

- 前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、［**前回の設定**］をタッチします。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。

測定窓

5 ［**新規設定**］をタッチして、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[**ホワイトバランス**]を[**オート**]または[**フラッシュ**]に設定してください。

ベストフェイスメニュー

- [**画像モード**]については、「撮影メニュー（（オート撮影）モード）」の「画像モード（画像サイズ/画質）」（26）をご覧ください。
- [**タッチ撮影**]については、「撮影メニュー（（オート撮影）モード）」の「タッチ撮影」（28）をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 美肌効果

美肌の効果を設定します。

項目	内容
強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
標準（初期設定）	
弱め	
OFF	美肌機能はOFFになります。

撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 目つぶり軽減

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

項目	内容
ON ON	ON［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。 目つぶり検出した画像を記録しました
OFF OFF（初期設定）	目つぶり軽減機能をOFFにします。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 笑顔自動シャッター

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
ON ON（初期設定）	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

再生メニュー

- [**画像編集**] については、「画像の編集（静止画）」（E5）をご覧ください。

スライドショー

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 ［開始］をタッチする

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］をタッチする前に（インターバル設定）をタッチして設定します。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］をタッチする前にをタッチします（エンドレス再生）。

2 スライドショーが始まる

- モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。

操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀◀	タッチしている間、巻き戻しします。
早送り	▶▶	タッチしている間、早送りします。
一時停止	❚❚	タッチすると、一時停止します。 ・再生を再開するには、▶ をタッチします。 ・巻き戻しするには ◀❚❚ を、早送りするには ❚❚▶ をタッチします。
再生終了	■	タッチすると、スライドショーを終了し、手順1の画面に戻ります。

スライドショーについてのご注意

- 動画は1フレーム目だけを表示します。
- かんたんパノラマ（⊶2）で撮影した画像は、スライドショーでは再生されません。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大30分です（⊶72）。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。内蔵メモリー / SDカードを初期化（フォーマット）（E74）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。
プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（8）が表示されます。

1コマだけ保護（プロテクト）する

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ プロテクト設定

ON［ON］をタッチする

- 画像がプロテクトされます。
- 画像をドラッグすると、表示した画像を続けてプロテクト設定できます。

複数の画像を保護（プロテクト）する

複数の画像を一度にプロテクトできます。

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ サムネイル表示する（□62）➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ O┳ プロテクト設定

1 プロテクトしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。

2 OKをタッチする

- 画像がプロテクトされます。

プロテクト設定を解除する

- 1 コマずつプロテクト設定を解除するには、プロテクト設定された画像を 1 コマ表示して「1コマだけ保護（プロテクト）する」（⊶44）の画面で［**OFF**］をタッチします。
- 複数画像のプロテクト設定を解除するには、「複数の画像を保護（プロテクト）する」の手順1の画面で、プロテクト設定された画像のチェックマークを外します。

🖶 プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（☼17）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- プリント指定を行った画像は、再生時の画面で🖶（📖8）が表示されます。

1コマだけプリント指定する

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 🖶 プリント指定

1 プリントする枚数（9 枚まで）をタッチし、OKをタッチする

- OKをタッチする前に画像をドラッグすると、プリント指定する画像を変更できます。

- 今回のプリント指定を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、右の画面が表示されます。
  - ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
  - ［**キャンセル**］を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

2 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチするとチェックマークが表示され、撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチするとチェックマークが表示され、撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

複数の画像をプリント指定する

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ サムネイル表示する（□62）
➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 凸 プリント指定

1 プリントしたい画像（最大99コマまで）をタッチして選び、画面右の▲または▼をタッチしてプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（▣）方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。
- RESETをタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

2 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチするとチェックマークが表示され、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチするとチェックマークが表示され、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

詳細編

プリント指定を解除する

- 1コマずつプリント指定を解除するには、プリント指定された画像を1コマ表示して「1コマだけプリント指定する」(E46)の操作をし、手順1の画面で「0」をタッチします。
- 複数画像のプリント指定を解除するには、「複数の画像をプリント指定する」(E47)の手順1の画面で、プリント指定された画像のチェックマークを外します。RESETをタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した[**日付**]と[**撮影情報**]は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター(☼17)で印字できます。

- プリント指定を行った後、再び[**プリント指定**]メニューを表示すると、[**日付**]と[**撮影情報**]の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にAndroid™プラットフォームの設定メニュー(□91)の[**日付と時刻**]で[**日付設定**]や[**タイムゾーンの選択**]や[**時刻設定**]を変更してもプリントされる日付には反映されません。

[デート写し込み]について

セットアップメニューの[**デート写し込み**](E57)を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。デート写し込みした画像は、[**プリント指定**]で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

画像回転

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像編集をタッチする ➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

- またはをタッチすると、画像が90度回転します。

時計方向に
90度回転

反時計方向に
90度回転

- OK をタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

詳細編

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

再生モードアイコンをタッチする（再生モード）➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 コピーする方向をタッチする

- ［**カメラ→カード**］：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- ［**カード→カメラ**］：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法をタッチする

- ［**選択画像コピー**］：
  画像を選んでコピーします。→手順3へ
- ［**全画像コピー**］：
  すべての画像をコピーします。確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。コピーを中止するには、［**いいえ**］をタッチします。

3 コピーしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ズームレバーを **T**（Q）または **W**（▦）方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。

4 OKをタッチする

- 確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。コピーを中止するには、［**いいえ**］をタッチします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOVです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（➡46）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（➡44）した画像をコピーすると、これらの設定内容はコピー先の画像にも反映されます。
- 処理の実行中に⌂（ホーム）ボタンを押すと、処理を中止してAndroid™プラットフォームのホーム画面が表示されます。メッセージが消灯するまで、操作をしないでください。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENU（メニュー）ボタンを押して⊡をタッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→➡76

詳細編

動画メニュー

動画設定

撮影モードを動画にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録した場合は、ファイルサイズが大きくなります。
- 記録可能時間→71
- 通常速度の動画を撮影するときは「通常速度の動画」（52）の一覧から、HS動画を撮影するときは「HS動画」（53）の一覧から選びます。

通常速度の動画

種類	ビットレート	内容
HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	約14 Mbps	縦横比16：9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。
HD 1080p（1920×1080）	約12 Mbps	縦横比16：9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。
HD 720p（1280×720）	約9 Mbps	縦横比16：9の動画を記録します。
VGA（640×480）	約3 Mbps	縦横比4：3の動画を記録します。

- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

HS動画

種類	ビットレート	内容
QVGA240 HS 240 fps (320×240)	約640 kbps	縦横比4：3で1/8の速度のスローモーション動画を撮影します。 ・ 最長撮影時間：10 秒（再生時間：80 秒）
VGA120 HS 120 fps (640×480)	約3 Mbps	縦横比4：3で1/4の速度のスローモーション動画を撮影します。 ・ 最長撮影時間：15 秒（再生時間：1 分）
720p60 HS 60 fps (1280×720)	約9 Mbps	縦横比16：9で1/2の速度のスローモーション動画を撮影します。 ・ 最長撮影時間：30 秒（再生時間：1 分）
1080p15 HS 15 fps (1920×1080)	約14 Mbps	縦横比16：9で2倍の速度の早送り動画を撮影します。 ・ 最長撮影時間：2 分（再生時間：1 分）

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→E76

タッチ撮影

撮影モードを動画にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → タッチ撮影

動画撮影時に画面にタッチするだけで、撮影を開始/終了するかどうかをON（初期設定）/OFFで設定します。

詳細編

AF AFモード（オートフォーカスモード）

撮影モードを動画にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → AF AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	動画撮影を開始したときのピントに固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

- ［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**シングルAF**］に固定されます。

風切り音低減

撮影モードを動画にする → MENU（メニュー）ボタンを押す → 風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

設定	内容
ON ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF OFF（初期設定）	風切り音を低減しません。

- ［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**OFF**］に固定されます。

セットアップメニュー

オープニング画面

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ｙ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

項目	内容
なし（初期設定）	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。

モニター設定

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ｙ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

項目	内容
モニター表示設定	撮影画面および再生画面の情報表示を自動でOFFにするかどうかを設定します。 **モニターの表示内容については→□6** • ［**情報 ON**］：常に情報を表示します。 • ［**情報 AUTO**］（初期設定）：再生画面では操作をしない状態が数秒経過すると、情報表示が OFF になります。操作すると、再び情報を表示します。 撮影画面では操作しない状態が数秒経過すると、一部の操作アイコンや撮影情報の表示が OFF になります。DISP をタッチすると再表示します。 • ［**格子線 + 情報 AUTO**］：構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は表示しません。
撮影後の画像表示	• ［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。 • ［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

詳細編

デート写し込み（日付の写し込み）

撮影画面または再生画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）をタッチする ➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（⚫⚫48）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

項目	内容
DATE 年・月・日	画像に日付を写し込みます。
DATE⊕ 年・月・日・時刻	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（📖6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消すことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードの［**スポーツ**］、［**逆光**］（［**HDR**］ON時）、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］（［**連写**］時）のとき
  - ベストフェイスモードの［**目つぶり軽減**］（📖54）が［**ON**］のとき
  - 連写の設定（⚫⚫36）が［**単写**］、［**マルチ連写**］以外のとき
  - 動画のとき
- ［**画像モード**］（⚫⚫26）が VGA ［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは 2M ［**1600 × 1200**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、Android™ プラットフォームの設定メニュー（📖91）の［**日付と時刻**］（📖84）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（⚫⚫46）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

撮影画面または再生画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）をタッチする ➔ 手ブレ補正

撮影するときの手ブレ補正を設定します。
望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

項目	内容
ON（ハイブリッド）	レンズシフト方式で手ブレを光学的に補正し、さらに静止画撮影時に以下の条件になると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。 • フラッシュを発光しないとき • シャッタースピードが 1/60 秒より低速のとき • ［**セルフタイマー**］が OFF のとき • ［**連写**］の設定が［**単写**］のとき • ISO 感度が 200 以下のとき
ON（初期設定）	レンズシフト方式で手ブレを補正します。
OFF	手ブレ補正をしません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後にモニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**ON（ハイブリッド）**］で電子式手ブレ補正が作動するときは、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。［**シャッター音**］（E60）が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

AF補助光

撮影画面または再生画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ ¥（セットアップメニュー）をタッチする ➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO（初期設定）	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は約2.0 mです。ただし、[**AUTO**]に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

撮影画面または再生画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ ¥（セットアップメニュー）をタッチする ➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

項目	内容
ON（初期設定）	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（q）方向に回すと、電子ズーム（A23）が作動します。
OFF	電子ズームは作動しません。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム作動中はAFエリアが中央に固定されます。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - シーンモードが[**ポートレート**]、[**夜景ポートレート**]、[**逆光**]（[**HDR**]ON 時）、[**かんたんパノラマ**]または[**ペット**]のとき
  - ベストフェイスモードのとき
  - タッチ撮影が[**ターゲット追尾**]のとき
  - [**マルチ連写**]（E37）のとき

シャッター音

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）をタッチする ➔ シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
ただし、連写、BSSなどで撮影するときや、動画撮影時は、［**ON**］に設定しても、シャッター音は鳴りません。

シャッター音についてのご注意

シーンモードの［**ペット**］では、シャッター音は鳴りません。

シャットダウンタイマー

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）をタッチする ➔ シャットダウンタイマー

このメニューでは、スタンバイ状態から電源OFFまでの時間を設定します。
［**1 時間**］（初期設定）、［**3 時間**］、［**5 時間**］、［**8 時間**］、［**12 時間**］、［**OFF**］から選べます。
設定時間で電源がOFFになると作業中のデータはすべて失われます。作業中のデータはスタンバイモードに入る前に必ず保存してください。

節電によりモニターが消灯したときは

- スタンバイ状態では、電源ランプが点滅します。
- 何も操作しないでスタンバイ状態が1時間（初期設定）続くと電源OFFになります。
- 電源ランプの点滅中は、電源スイッチを短押しするとモニターが再点灯します。

関連ページ

電源の状態と節電機能➞□19

HDMI

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ｙ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ HDMI

テレビとの接続に必要な設定を行います。
HDMI出力時の画像の解像度を［**オート**］（初期設定）、［**480p**］、［**720p**］、または［**1080i**］から選べます。［**オート**］にすると、接続するテレビに対応した解像度を［**480p**］、［**720p**］、または［**1080i**］から自動で選んで出力します。

HDMIとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。

目つぶり検出設定

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ｙ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□58）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- （らくらくオート撮影）モード（□30）または（オート撮影）モード（□31）
- シーンモードの［**ポートレート**］（□34）または［**夜景ポートレート**］（□35）

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。 →「目つぶり確認画面の操作方法」（⚯63）
OFF（初期設定）	目つぶり検出をしません。

目つぶり検出設定についてのご注意

連写の設定が［**単写**］以外のときは、目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

[**目つぶり確認**] 画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	アイコン	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。 複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に◎または◎をタッチすると、拡大表示する顔が切り換わります。
1コマ表示に戻る	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑をタッチします。
撮影画面に戻る	OK	OKをタッチします。シャッターボタンを押しても撮影画面に戻ります。

GPS設定

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ÿ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ GPS設定

［**位置情報記録機能**］、［**日時合わせ**］、［**A-GPSファイル更新**］を使うときは、Android™プラットフォームの設定メニュー［**現在地情報とセキュリティ**］→［**GPS機能を使用**］をONに設定してください。

項目	内容
位置情報記録機能	［**ON**］にすると、測位が始まり、画像に位置情報を記録します（撮影時）。 ・ 初期設定は［**OFF**］です。
日時合わせ	GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します（セットアップメニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。
A-GPS**ファイル更新**	SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。

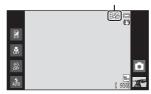
GPSについてのご注意

- はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。再生アプリケーションなど他のアプリケーションから撮影アプリケーションに切り換えたときは、測位情報を取得するまでに数秒かかります。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。GPSアンテナ部（□1）を空に向けると受信しやすくなります。
- 航空機内や病院で電源をOFFにする必要があるときは、Android™プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**現在地情報とセキュリティ**］→［**GPS機能を使用**］の設定もOFFにしてください。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
  - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写で撮影した画像には、1コマ目に撮影した位置情報が記録されます。
- このカメラのGPS機能の測地系は、世界測地系（WGS 84 : World Geodetic System1984）です。

日時合わせについてのご注意

- ［**日時合わせ**］は、Android™プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**日付と時刻**］で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。［**日時合わせ**］をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- ［**日時合わせ**］で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。［**日時合わせ**］で時刻が合わないときは、Android™プラットフォームの設定メニュー（□91）の［**日付と時刻**］で設定してください。

GPS受信状態表示について

- GPS受信状態は、撮影画面で確認できます。
  - ：4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
  - ：衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。

位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時にが表示されます（8）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます（65）。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

A-GPSファイルの更新方法

下記のホームページから最新のA-GPSファイルをダウンロードして、更新してください。
http://nikonimglib.com/agps3/

- COOLPIX S800c用のA-GPSファイルは、上記ホームページ以外では、入手できません。

1 ホームページから最新のA-GPSファイルをパソコンにダウンロードする

2 ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、SD カードの「NCFL」フォルダーにコピーする

3 ファイルをコピーしたSDカードをカメラに入れる

4 カメラの電源をONにする

5 MENU（メニュー）ボタンを押してセットアップメニューを表示し、［**GPS設定**］をタッチする

6 ［**A-GPSファイル更新**］を選び、ファイルを更新する

A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPSファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2回目の測位から有効になります。
- A-GPSファイルの有効期限は、14日間です。有効期限は更新画面で確認できます。
- A-GPSファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位に時間がかかる場合があります。A-GPSファイルはGPSを使う前に更新することをおすすめします。

設定クリアー

撮影画面または再生画面にする➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ Ұ（セットアップメニュー）をタッチする ➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□44）	自動発光
セルフタイマー（□46）	OFF
マクロモード（□48）	OFF
露出補正（□49）	0

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（⚯26）	16M［**4608×3456**］
タッチ撮影（⚯29、⚯31、⚯33）	タッチシャッター
ISO感度設定（⚯35）	オート
連写（⚯36）	単写
ホワイトバランス（⚯38）	オート

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□34）	ポートレート
シーンエフェクト調整（□33）	中央
HDR（逆光に設定時）（□37）	OFF
かんたんパノラマ（□38）	標準（180°）
連写（ペットに設定時）（□39）	連写
ペット自動シャッター（ペットに設定時）（□39）	ON

スペシャルエフェクトモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのスペシャルエフェクト設定（📖40）	ソフト

ベストフェイスモード

項目	初期設定
美肌効果（📖53）	標準
目つぶり軽減（📖54）	OFF
笑顔自動シャッター（📖54）	ON

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（E52）	1080P30 HD 1080p★（1920×1080）
AFモード（E54）	シングルAF
風切り音低減（E54）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（E55）	なし
モニター表示設定（E56）	情報AUTO
撮影後の画像表示（E56）	ON
デート写し込み（E57）	OFF
手ブレ補正（E58）	ON
AF補助光（E59）	AUTO
電子ズーム（E59）	ON
シャッター音（E60）	ON
シャットダウンタイマー（E61）	1時間
HDMI（E62）	オート
目つぶり検出設定（E62）	OFF
位置情報記録機能（E64）	OFF

その他

項目	初期設定
スライドショーのインターバル設定（E42）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（E76）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（□28）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（E39）
  セットアップメニュー：
  ［**GPS設定**］の［**日時合わせ**］（E64）
  Android™プラットフォームの設定メニュー項目も初期設定には戻りません。

バージョン情報

撮影画面または再生画面にする ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ ?（セットアップメニュー）をタッチする ➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

詳細編

Android™プラットフォームの基本設定

無線とネットワーク

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 無線とネットワーク

Wi-Fi設定、Bluetooth設定を行います。

項目	内容
機内モード	すべてのワイヤレス接続を無効にします。初期設定はOFFです。
Wi-Fi	Wi-Fi（無線LAN）機能のON/OFF（初期設定）を設定します。
Wi-Fi**設定**	［**Wi-Fi**］：Wi-Fi（無線LAN）機能をONにします。初期設定はOFFです。 ［**ネットワークの通知**］：Wi-Fi（無線LAN）のオープンネットワークが検出されたら、通知するように設定します。初期設定はONです。 ［**かんたん設定**］：Wi-Fi（無線LAN）機器などとの自動接続設定を［**プッシュボタン方式**］と［**PIN コード**］方式から選びます。 ［**Wi-Fi ネットワークを追加**］：Wi-Fi（無線LAN）接続の設定を追加します。
Bluetooth	Bluetooth機能のON/OFF（初期設定）を設定します。
Bluetooth**設定**	［**Bluetooth**］：Bluetooth機能をONにします。初期設定はOFFです。 ［**端末名**］：Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示される本製品の名前を変更します。 ［**検出可能**］：本製品が他のBluetooth機器から検出可能になります。初期設定はOFFです。 ［**デバイスのスキャン**］：使用可能なBluetooth機器を検出します。

画面の明るさ

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 表示 ➔ 画面の明るさ

画面の明るさをスライダーで調節できます。

選択時の操作音

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 音 ➔ 選択時の操作音

メニューを選択したときなど選択時に音を鳴らすかどうかをON/OFFで設定します。

画面オフ

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 表示 ➔ 画面オフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のためにモニターが消灯して画面オフ状態（□19）になります（動画再生中は除く）。
このメニューでは、画面オフ状態になるまでの時間を設定します。
[**15秒**]、[**30秒**]、[**1 分**]（初期設定）、[**2 分**]、[**10 分**]、[**30 分**] から選べます。

節電によりモニターが消灯したときは

- 画面オフ状態では、電源ランプが点灯します。
- 何も操作しないで画面オフ状態が約1分続くとスタンバイ状態になります。
- 電源ランプの点灯中は、電源スイッチ、シャッターボタン、⮌（バック）ボタン、⌂（ホーム）ボタン、MENU（メニュー）ボタンを押すとモニターが再点灯します。

画面オフの設定について

以下の場合、画面オフ状態に入るまでの時間は固定です。
- 設定画面の表示中：画面オフで設定されている時間
- スライドショー再生中：最大30分

関連ページ

電源の状態と節電機能→□19

GPS機能を使用

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する ➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 現在地情報とセキュリティ ➔ GPS機能を使用

ONにするとGPS衛星から電波を受信します。

- 初期設定はOFFです。
- ［**位置情報記録機能**］、［**日時合わせ**］、［**A-GPSファイル更新**］を使うときは、ONに設定してください。

バッテリーの消費を抑えるには

GPS機能をONにしているときは、測位を行っているため、バッテリーを通常よりも消費します。GPS機能を使用していないときは、［**GPS機能を使用**］をOFFにします。

再起動

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ プライバシー ➔ 再起動

カメラの再起動をします。

SDカード内データを消去（フォーマット）

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ ストレージ ➔ SDカード内データを消去

SDカードを初期化（フォーマット）します。
初期化すると、SDカード内のデータはすべて削除されます。**削除したデータはもとに戻せません。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

SDカード内データを消去

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
- 以下の場合は、SDカードを初期化できません。
- SDカードが取り外されているとき
- SDカードがLockされているとき
- SDカードがカメラに認識されていないとき

内蔵メモリーを初期化するには

内蔵メモリーを初期化するには、Android™プラットフォームのホーム画面で、MENU（メニュー）ボタン→［**設定**］→［**プライバシー**］→［**データの初期化**］を選択します。［**SDカード内データを消去**］が選択されているときは、内蔵メモリーとSDカードの初期化を同時に行います。

言語を選択

Android™プラットフォームのホーム画面を表示する➔ MENU（メニュー）ボタンを押す ➔ 設定をタッチする ➔ 言語とキーボード ➔ 言語を選択

画面に表示する言語を、以下のような言語から選択できます。

Čeština	チェコ語
Dansk	デンマーク語
Deutsch	ドイツ語
English	英語
Español	スペイン語
Ελληνικά	ギリシャ語
Français	フランス語
Indonesia	インドネシア語
Italiano	イタリア語
Magyar	ハンガリー語
Nederlands	オランダ語
Norsk	ノルウェー語
Polski	ポーランド語
Português (BR)	ポルトガル語（ブラジル）
Português (PT)	ポルトガル語（ポルトガル）
Русский	ロシア語
Română	ルーマニア語
Suomi	フィンランド語
Svenska	スウェーデン語
Tiếng Việt	ベトナム語
Türkçe	トルコ語
Українська	ウクライナ語
简体中文	中国語（簡体字）
繁體中文	中国語（繁体字）
日本語	（初期設定）
한글	韓国語
ภาษาไทย	タイ語

詳細編

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画には、以下のようなファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子
（カメラの画面には表示されません）

編集していない静止画および動画	DSCN
トリミング画像	RSCN
スモールピクチャー画像	SSCN
スモールピクチャーとトリミング以外の画像編集で作成した画像	FSCN

ファイル番号
（0001からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

静止画	.JPG
動画	.MOV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100 NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（E50）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（E74）してください。

別売アクセサリー

充電器	バッテリーチャージャー MH-65P※1 （残量のない状態からの充電時間：約2時間30分）
ACアダプター	ACアダプター EH-62F※2 ＜EH-62Fの取り付け方＞ 1　2　3 ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。また、バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、コードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損するおそれがあります。

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお買い求めいただけます。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	考えられる原因や対処	📖
(時計アイコン) （点滅）	カメラの時計が設定されていません。 日付と時刻を設定してください。	84
電池残量が ありません	バッテリーの残量がありません。 バッテリーを充電または交換してください。	12、14
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。 電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると電源ランプが高速点滅を開始し、5秒後にモニターが消灯します。	19
カメラが高温です 電源をOFFします	カメラの内部またはSDカードが高温になっています。 電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	19
カメラが高温です Wi-Fiを停止しました	カメラの内部が高温になり、Wi-Fi（無線LAN）機能を停止しました。 ［**OK**］を押して、カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	–
カメラが高温です 無線LANを停止しました	カメラの内部が高温になり、カメラとスマートデバイスの接続を停止しました。 ［**OK**］を押して、カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	–
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。 • ピントを合わせ直してください。 • 等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法をお試しください。	24、25 60
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。 記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。画像の記録中は、バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。	–
しばらくお待ちください	処理を実行中です。 処理が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。処理中は、バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。	–
カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	–
このカードは 使えません カードに異常が あります	SDカードへのアクセス異常です。 • 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	☼17 16 16

表示	考えられる原因や対処	📖
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。 • 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	53、➡26 28 16 17
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	➡74
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 • SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	16 ➡74
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	28
目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。 画像を再生して確認してください。	54、➡41
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。 画像編集が可能な条件を確認してください。	➡5
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	70、🔧17
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーから SD カードに画像をコピーする場合は、MENU（メニュー）ボタンを押して ⊞ タッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像を SD カードにコピーできます。	17 ➡50
HDMIケーブルを抜いてください	HDMIケーブルでカメラとテレビが接続されています。 • カメラとテレビからHDMIケーブルを抜いてください。	64、➡15
USB ストレージを OFF にしてください	カメラのUSB接続画面でUSBストレージがONになっていて、カメラに外部機器が認識されています。 • カメラの USB 接続画面で USB ストレージを OFF にして、カメラと外部機器の USB 接続を解除してください。	64、66

表示	考えられる原因や対処	📖
このファイルは表示できません	COOLPIX S800c以外で作成されたファイルです。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
表示できる画像がありません	スライドショーで再生できる画像がありません。	–
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	45
パノラマ撮影に失敗しました	かんたんパノラマ撮影ができませんでした。 以下の場合、かんたんパノラマ撮影ができないことがあります。 • 一定時間経っても撮影が終わらないとき • カメラを動かす速度が速すぎるとき • パノラマ方向に対してまっすぐになっていないとき	2
パノラマ撮影に失敗しました まっすぐに動かしてください		
パノラマ撮影に失敗しました ゆっくりと動かしてください		
GPS 情報の取得に失敗しました	時計合わせが正しく行われませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	–
A-GPS ファイルが見つかりません	SDカードに更新可能なA-GPSファイルがありません。 以下のことを確認してください。 • SD カードが入っているか • SD カード内に A-GPS ファイルが入っているか • SD カード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか • 有効期限が切れていないか	–
更新に失敗しました	A-GPSファイルの更新ができませんでした。 A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	67
もう一度押すと終了します	撮影画面で（バック）ボタンを押すと表示されます。 • 撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。 • そのまま撮影モードを終了させるにはもう一度（バック）ボタンを押してください。撮影モードが終了すると、ホーム画面が表示されます。	3
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	12、18

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～xi）をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 有機 EL モニターの特性上、同じ表示を長時間続けたり、くり返したりすると焼き付きが発生し、部分的に明るさが落ちたり、色ムラが現れたりすることがあります。また、長期間使い続けると焼き付きが戻らなくなることがあります。
  モニターの焼き付きは、記録される画像には影響はありません。
  焼き付きを抑えるには、モニターの明るさを必要以上に上げたままにしたり、同じ表示を極端に長く続けたりしないようおすすめします。
- 屋外ではモニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～xi）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
  バッテリーの温度が45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんなバッテリーを使い、予備バッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーをじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～xi）をお守りください。

- 本体充電AC アダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69P は、家庭用電源の AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨SDカード➞17
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SD カードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所
- 湿度が60％を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「● **保管について**」(🔆4) をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	• 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 • 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。 電源が OFF にならない場合は、バッテリーを入れ直してください。 AC アダプター使用時は付け直してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータはバッテリーや AC アダプターの取り外しでは失われません。	—
カメラ内のバッテリーを充電できない	プラグの接続状態を確認してください。	14
電源をONにできない	• バッテリー残量がありません。 • 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。	18 14
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの内部または SD カードが高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	18 3 19、 78
モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 節電機能により画面オフ状態またはスタンバイ状態になっています。電源スイッチを短押ししてください。	18 19、 72
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	—
モニターがよく見えない/暗くなる	• モニターの明るさを調整してください。 • カメラの内部が高温になると、発熱を抑えるため、自動的にモニターが暗くなります。温度が下がると明るさも戻ります。 • モニターが汚れています。	74、56 — 6

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に日時未設定マークが点滅している）、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。Android™ プラットフォームの設定メニュー［**日付と時刻**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	84 85
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報AUTO**］になっています。	74、⊶56
［**デート写し込み**］が選べない	• Android™ プラットフォームの設定メニュー［**日付と時刻**］が設定されていません。 • ［**デート写し込み**］が制限される他の機能が設定されています。	84 55
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• ［**デート写し込み**］が制限される他の機能が設定されています。 • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。	55 ⊶57 —
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	85
モニターが消灯し、電源ランプが緑色で高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	19
Wi-Fi（無線LAN）機能がOFFになりONにできない	• まれに Wi-Fi（無線 LAN）機能が突然 OFF になり、接続が切断されることがあります。 • Android™ プラットフォームのホーム画面で、MENU（メニュー）ボタン→［**設定**］→［**プライバシー**］→［**再起動**］で、再起動をしてから Wi-Fi（無線 LAN）設定を ON にしてください。	91、⊶73

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているとき、設定項目やセットアップメニューが表示されているときは、シャッターボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュ表示が点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	26 18 44
撮影モードにできない	HDMIケーブル、またはUSBケーブルを外してください。	64、66、⊶15

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、らくらくオート撮影モードまたはシーンモードの［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	30、36、48 25 75、➡59 18
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	44 53、➡35 74、➡58 53、➡36 46
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	44
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスモードで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • 撮影モードが動画になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	44 50 54 69 55
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合は電子ズームが使えません。 - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**逆光**］（［**HDR**］ON 時）、［**かんたんパノラマ**］または［**ペット**］のとき - タッチ撮影が［**ターゲット追尾**］のとき - ベストフェイスモードのとき - ［**連写**］の設定が［**マルチ連写**］のとき	75、➡59 34、35、37、38、39 53、➡31 41 53、➡36
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	55

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	75、⊷60 2、22
AF補助光が発光しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	75、⊷59
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	☼6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	53、⊷38
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	44 53、⊷35
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	44 22 44 49 53、⊷35 37、44
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	49
赤目以外の部分が補正された	⚡◉（赤目軽減自動発光）や、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを⚡◉（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	35、45
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、画像編集の［**美肌**］をお試しください。	54 63、⊷11

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • シーンモードの［**逆光**］（［**HDR**］ON 時）で撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき	 – 45 37 34、35、53
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–
一部機能が使用できない	• Android OS の起動が完了するまでの間は、撮影可能コマ数は 2 ～ 3 コマに制限され、撮影に関する設定ができません。 - 再生モードアイコンが表示されると、通常の撮影に切り換わります。それから撮影に関する設定を行ってください。 • COOLPIX S800c 以外の撮影アプリケーションでは、COOLPIX S800c の一部機能を使用できない場合があります。 - COOLPIX S800c の機能を充分に発揮したいときは、（ホーム）ボタンを押し、ホーム画面で［**撮影**］アイコンをタッチして、COOLPIX S800c の撮影アプリケーションを使用してください。 - 動画撮影するときは、COOLPIX S800c の撮影アプリケーションをお使いください。	18 94

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S800c 以外で撮影した動画は再生できません。	– 73
画像の拡大表示ができない	• COOLPIX S800c 以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 • 動画やスモールピクチャー画像は拡大表示できません。	– –

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像編集ができない	• 動画は編集できません。 • 画像編集が可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • 他のデジタルカメラでは、編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。	73 ⊶5 ⊶5 ⊶5
画像がテレビに映らない	• セットアップメニューの［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ケーブルと USB ケーブルの両方が接続されています。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	75、⊶62 64、66、⊶15 16
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	19 14、18 66 65 66 68
プリントした画像の端が削られてしまう	• ［**画像モード**］を 16:9 12M［**4608 × 2592**］または 16:9 2M［**1920 × 1080**］にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります。縦横比 16：9 の画像にプリンターが対応しているかなど、詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。 • ［**画像モード**］を 16:9 12M［**4608 × 2592**］または 16:9 2M［**1920 × 1080**］以外にして撮影してください。	ー 53
パノラマ写真をプリントできない	パノラマ写真はプリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。	ー

その他

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画面ロックが解除できない	• 画面ロックの解除方法が間違っています。解除方法を確認してください。 • 画面ロックの解除方法を忘れた場合は、画面ロックの解除ができません。ニコンサービス機関にお問い合わせください。	92

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S800c

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		1602万画素
撮像素子		1/2.3型原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ		光学10倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.5-45.0 mm（35 mm判換算25-250 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.2-5.8
	レンズ構成	8群8枚（EDレンズ1枚）
電子ズーム倍率		最大4倍（35 mm判換算で約1000 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能		レンズシフト方式と電子式の併用（静止画） レンズシフト方式（動画）
ブレ軽減機能		モーション検知（静止画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離範囲	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.0 m ～∞（望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 10 cm（ マークから広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）、ターゲット追尾
画像モニター		3.5型ワイド有機ELモニター（タッチパネル）、反射防止コート付き、約82万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	• 内蔵メモリー 画像保存領域：約 1.7 GB アプリケーション保存領域：約 680 MB（地域によって異なります） • SD/SDHC メモリーカード
	対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ）

項目		内容
記録画素数（画像モード）		・16M（高画質）［4608 × 3456 ★］ ・16M［4608 × 3456］ ・8M［3264 × 2448］ ・4M［2272 × 1704］ ・2M［1600 × 1200］ ・VGA［640 × 480］ ・16：9（12M）［4608 × 2592］ ・16：9（2M）［1920 × 1080］
ISO感度（標準出力感度）		・ISO 125 ～ 1600 ・ISO 3200（オート撮影モード時に設定可能）
露出		
	測光モード	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式		メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/2000 ～ 1 秒 ・1/4000 秒（高速連写時の最高速） ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－2 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.2、f/6.4［**広角側**］）
セルフタイマー		約 10秒、約 2秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約 0.5 ～ 5.6 m（広角側） 約 1.0 ～ 3.1 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB相当
	通信プロトコル	Mass Storage
HDMI出力		オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子		デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）
GPS		受信周波数 1575.42 MHz（C/Aコード）、測地系 WGS 84
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62F（別売）
充電時間		約4時間（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）

項目	仕様
電池寿命※1	
静止画撮影時	約 140コマ（EN-EL12使用時）
動画撮影時（実撮影電池寿命）※2	約40分（EN-EL12使用時）
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法（幅×高さ×奥行き）	約111.4×60.0×27.2 mm（突起部除く）
質量	約184 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃ ～ 40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
Wi-Fi（無線LAN）	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル） WPS 2.0（Wi-Fi Alliance準拠） ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格）
伝送方式	IEEE 802.11b：DBPSK、DQPSK、CCK IEEE 802.11g：OFDM IEEE 802.11n：OFDM
通信距離	約60 m
使用周波数範囲（中心周波数）	2412～2462 MHz（1～11チャンネル）
データ転送速度（実測値）	IEEE 802.11b：5 Mbps IEEE 802.11g：20 Mbps IEEE 802.11n：25 Mbps
セキュリティー	WPA/WPA2/WEP
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
Bluetooth	
準拠規格	Bluetooth®（ver. 2.1 + EDR）
対応プロファイル	A2DP
システム	
プロセッサー	Cortex-A9
メモリー	ROM：4 GB RAM：512 MB
オペレーティングシステム	Android 2.3.3

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電バッテリー使用時のものです。

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード🅼［**4608×3456**］です。動画設定は、［**HD 1080p★ (1920×1080)**］です。数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、0.068-0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃ ～ 40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 55 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。

推奨SDカード

下記のSD カードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード ※2
SanDisk	2 GB ※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
TOSHIBA	2 GB ※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
Panasonic	2 GB ※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

オープンソースソフトウエアについて

本製品はGNU General Public License(GPL) , GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) 及び／またはその他著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウエアを含みます。GPL、LGPL及びその他ライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については「端末情報」から参照頂けます。

ニコンは100-8331 東京都千代田区有楽町1-12-1（新有楽町ビル）株式会社ニコン 映像カンパニー宛て書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウエアのソースコードにつき、配布のための必要な費用（メディア費用、物流費用、取り扱い費用等）を負担頂くことを条件に、CD-ROMにて配布を致します。上記ソースコードの提供の申し出は、本製品がニコンより販売されてから3年間有効なものとします。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG.Incの商標または登録商標です。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Gmail、Google Calendar、Google Checkout、Googleマップ、Googleトーク、Google latitude、PicasaおよびYouTubeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

マーク・英数

ア

カ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 〜 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00〜18:00（年末年始12/29〜1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜(株)ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

YP2I02(10)

6MN01410-02